

市 民 交 流 課

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センターの管理運営

平成 16 年 4 月に開設をし、同年 7 月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第 1 期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第 2 期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	48,202,000	〃
<第 3 期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	〃
<第 4 期> 自 24. 4. 1 至 29. 3. 31	59,832,000	〃
<第 5 期> 自 29. 4. 1 至 2. 3. 31	41,177,000	〃
<第 6 期> 自 2. 4. 1 至 4. 3. 31	29,300,000	〃
<第 7 期> 自 4. 4. 1 至 6. 3. 31	30,672,146 (※)	〃

※当初指定管理料 30,200,000 円

令和 4 年度 電気料金高騰による補てん分 472,146 円

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ、SNS、情報誌（「パルティ」年 3 回発行）等広報ツールを活用し、市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・市民活動を深く広めるため、市民及び団体との交流事業を行った。

（開催したイベント）

開催日	内 容
4. 8. 7	登録団体交流会（オンラインでの交流会）
4. 11. 19	防災講演会
4. 12. 24	チャリティーコンサート「ミュージックコミュニケーション」
5. 3. 25	第 11 回いせ市民活動フェスティバル

(新型コロナウイルスの影響により開催を中止したイベント)

中止した内容
ダンスワールド in 伊勢 (例年 7 月に開催)
救命救急講習会 (例年 10 月に開催)

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機を設置するとともに、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し、市民活動を支援した。
- ・市民活動の活性化を図るため、NPO や市民活動団体から相談を受け、アドバイスや他団体を紹介した。

相談件数 (新型コロナウイルス相談窓口を含む) 89 件

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可、施設・設備及び機器の維持管理を行った。

(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A 会議室	B 会議室	1 F ホール			
29. 4. 1 ～ 30. 3. 31	% 34.6	% 45.9	% 49.7	% 39.7	人 46,014	% 26.1	人 18,762
30. 4. 1 ～ 31. 3. 31	32.5	42.3	48.9	35.7	35,737	20.7	14,170
31. 4. 1 ～ 2. 3. 31	30.5	42.6	52.8	29.3	32,232	17.7	13,641
2. 4. 1 ～ 3. 3. 31	21.5	39.7	40.3	29.5	17,784	15.5	5,942
3. 4. 1 ～ 4. 3. 31	27.6	36.6	30.3	21.2	18,493	15.2	5,533
4. 4. 1 ～ 5. 3. 31	30.2	41.5	37.1	22.6	20,352	19.0	8,801

平均稼働率・・・稼働実績時間数/[稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数]×100

(登録団体数)

基準日	30. 3. 31	31. 3. 31	2. 3. 31	3. 3. 31	4. 3. 31	5. 3. 31
登録団体数	184	181	179	180	174	169

ウ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う特別支援活動

(いせ市民活動センター登録団体対象)

年 月 日	事業名称	内 容
4. 10. 27～30	消毒用アルコール無料配布	消毒用アルコールを無料配布 (1 団体につき 10) 19 団体が利用
随時	カメラ&スピーカーフォン貸出支援	オンライン会議用のカメラとスピーカーフォンを無料で貸出 (2 団体 4 件)
	非接触型赤外線体温計貸出支援事業	非接触型赤外線体温計を無料で貸出 (3 団体)
	新型コロナウイルス相談窓口	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための団体活動や IT 活用についての相談実施 (7 団体)

(来所者対象事業)

寄附のあった手作りマスクをいせ市民活動センターの窓口に設置し、無料で提供した。(260 枚)

(3) 工事関係

落雷により放送設備が故障したため機器の取替を行った。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岩 淵 1 丁 目 地 内	いせ市民活動センター非常用放送設備取替工事	非常用放送設備取替一式	円 1,188,000	4. 8. 17	4. 9. 16

(4) 市民公益活動促進委員会

いせ市民活動センターの施設運営にとどまらず、広く市の市民公益活動について調査審議するため設置している。(平成 29 年 4 月 1 日設置)

第 1 回委員会：令和 4 年 7 月 14 日 (木) オンライン開催

<主な内容> ・令和 3 年度いせ市民活動センターの管理運営状況について

第 2 回委員会：令和 5 年 2 月 3 日 (金) オンライン開催

<主な内容> ・令和 4 年度いせ市民活動センター中間報告について

・まちづくり協議会の取組、高校生いせミライブプロジェクトについて

2 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事として、団体の代表者等 65 人からなる実行委員会により企画・運営を行った。

日 時 令和 4 年 10 月 8 日 (土)、9 日 (日) 各日とも 9:30～16:30

場 所 県道鳥羽松阪線 (大世古交差点) ～伊勢市駅周辺

内 容 ・幼稚園児のマーチング、小学生の鼓笛等のパレード
・楽器演奏、ダンス、マジック等のイベント

- 来場者数 約 10,000 人（8日約 7,000 人、9日約 3,000 人）
- 参加者 パレード 延べ 9 団体 約 1,190 人
 イベント 延べ 29 団体 約 840 人
 （雨天によるイベントキャンセル 4 団体 約 60 人含む）
- 広報 ポスター 1,000 枚 パンフレット 10,000 部作成
 広報いせ及び行政チャンネル、Facebook 等にて情報発信
- 特徴 「新型コロナウイルスの感染者を出さないこと」を最優先とし、距離をとり密集させないために対策を実施。
- ・夜間開催なし
 - ・出店・出展、手筒花火なし
 - ・会場内飲食の禁止（水分補給は可）

3 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成 23 年 4 月 1 日から名称を変更し、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図っている。

- (1) 指定管理者 矢持町下村区
- (2) 指定管理料 250,000 円（年額）
- (3) 指定管理期間 令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日（5 年間）
- (4) 利用者数 698 人（令和 4 年度）

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。地域活動のための場として地域住民が貸室及び図書分室を利用している。

コミュニティセンター使用状況

- (1) 神社地区コミュニティセンター（みなとふれあいセンターに併設）

図書貸出状況	
貸出人数	貸出冊数
487 人	1,065 冊

- (2) 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
21 件	5 件	26 件	467 人	982 人	1,970 冊

(3) 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 199	件 1	件 200	人 2,325	人 613	冊 1,404

(4) 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 134	件 127	件 261	人 2,286	人 354	冊 829

(5) 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 49	件 15	件 64	人 588	人 189	冊 463

(6) 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 146	件 24	件 170	人 1,795	人 190	冊 473

(7) 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 110	件 72	件 182	人 2,037	人 195	冊 487

(8) 沼木地区コミュニティセンター・伊勢市沼木農村環境改善センター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室	生活研修室	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 91	件 31	件 122	人 764	人 261	冊 634

2 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
前山町地内	宮本支所休憩室空調機取替工事	空調機取替一式	円 172,700	4. 5. 20	4. 6. 8
西豊浜町地内	(注) 豊浜支所空調機取替工事	空調機取替一式	1,795,200	4. 6. 6	4. 7. 20

上 地	町 内	(注) 城田支所空調機取 替工事	空調機取替一式	円 1,592,800	4. 6. 6	4. 7. 20
上 地	野 町 内	(注) 沼木支所空調機取 替工事	空調機取替一式	2,816,000	4. 6. 6	4. 7. 20
前 地	山 町 内	宮本地区コミュニ ティセンター防災 倉庫内照明器具取 替工事	照明器具取替一式	64,240	4. 11. 4	4. 11. 11
村 地	松 町 内	北浜支所 1 階事務 室空調機取替工事	空調機取替一式	1,232,000	4. 12. 28	5. 1. 26

(注) 営繕課施行

○ 国際交流事業関係

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 在住外国人への支援

ア 伊勢市在住外国人アンケート調査

今後の外国人住民施策の参考とするため、アンケートを実施した。

調査期間 令和5年1月23日～3月10日

対象者 市内の外国人住民

調査依頼 伊勢市国際交流協会をはじめ、外国人住民とつながりのある団体、教育機関、事業所等を通じ、調査協力を依頼した。

回答人数 92人

イ 外国人をサポートするための避難所運営訓練事業

早修、北浜、城田、沼木、浜郷地区の地元住民と避難所担当職員を対象に実施した。また平常時の日本語支援団体として、伊勢市国際交流協会会員も参加した。

当日は市内に勤務する外国人を避難者役として、受け入れを中心に訓練を行った。

第1回 令和4年10月29日(土)

参加者数 : 16人

協力外国人数 : 6人

第2回 令和4年12月11日(日)

参加者数 : 27人

協力外国人数 : 8人

場 所 伊勢市防災センター4階防災多目的ホール

ウ 外国人研修制度により来日した外国人研修生対象の説明会の開催

多文化共生事業の一環として、伊勢市に滞在あるいは在住する外国人研修生に対して、安全・安心な日常生活を送れるよう生活全般についての説明を行った。

開催日	開催場所	受入機関・研修生数
R4. 4. 20	小俣農村環境改善センター	国際交流支援協会 ミャンマー人7人
R4. 5. 11	小俣農村環境改善センター	国際交流支援協会 中国人8人
R4. 6. 7	小俣農村環境改善センター	国際交流支援協会 中国人4人

エ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、各市町と県内の在住外国人と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県により開催され、計10回参加した。

(2) 伊勢市国際交流協会との協働

会員数 個人会員66人、企業・団体会員4団体（令和5年3月末）

市民の国際交流を促進するとともに、在住外国人への支援を通じ、伊勢市での国際相互理解を深めることを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに国際交流・多文化共生に関する事業を推進している。

ア 在住外国人のための日本語教室

場 所 いせ市民活動センター南館2階

日 時 毎週火曜日 10:00~11:30 45回開催

毎週木曜日 19:00~20:30 43回開催

毎週日曜日 10:00~11:30 44回開催

学習支援ボランティア（協会会員） 延べ1,145人

学習者（外国人） 延べ710人

イ 在住外国人のための日本語教室（オンライン）

方 法 オンライン会議ツール「Zoom」

日 時 令和4年4月~令和5年3月（随時）116回開催

学習支援ボランティア（協会会員） 延べ153人

学習者（外国人） 延べ122人

ウ いせ国際交流日本語スピーチ大会

主に市内及び周辺地域に暮らす在住外国人に、国際交流・多文化共生について日本語で発表する機会を提供するとともに、一般観覧者を募集し、市民の異文化理解と国際感覚の醸成を促進した。

開催日 令和4年12月3日(土)
場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
参加人数 14人(ベトナム5、中国4、フィリピン3、ボリビア1、カナダ1)
観覧人数 50人
テーマ 日本に住んで感じていること・考えたこと
最優秀賞 中山 マリア さん(フィリピン) タイトル「コーヒーとカルピス」

エ 外国語講座

・中国語講座

開催日 令和4年12月1日(木)、8日(木)、令和5年1月12日(木)
場所 御菌公民館 学習室
講師 李 星華 さん
参加人数 14人

・ドイツ語講座

開催日 令和5年1月14日(土)、28日(土)
場所 御菌公民館 学習室
講師 バートロメー・セバスティアン さん
参加人数 15人

・ベトナム語教室

開催日 令和5年2月26日(日)、3月5日(日)、3月12日(日)
場所 伊勢市福祉健康センター 日常生活訓練室 洋室
講師 グエン ティ トゥ さん
参加人数 13人

オ 世界の料理教室～フィリピン編～

開催日 令和4年12月17日(土)
講師 マリア・ドロローサ・マサキ さん
場所 ハートプラザみその 栄養指導室
参加人数 15人

カ 「伊勢」と日本スタディプログラム参加留学生との交流

伊勢市と皇學館大学の協働事業と連携し、留学生と会員との交流事業を実施した。

開催日 令和5年2月25日(土)
場所 若松屋 下野工場
参加人数 19人(留学生12人、国際交流協会会員7人)

(3) 国際交流推進事業

ア あいらぶ いせ Instagram フォトコンテスト

在住外国人を対象に伊勢の写真をInstagram上で募集し、価値観の違いや何に興味を持

っているかを市民に周知するためのフォトコンテストを実施した。選ばれた作品（最優秀賞5点、優秀賞5点）は広報いせ令和5年4月1日号（多文化共生特集）の表紙に掲載した。

募集期間 令和4年12月3日（土）～令和5年1月31日（火）
テ ー マ 外国の人から見た「いせ」（伊勢市内・伊勢周辺エリア）の好きなところ
応募枚数 100枚（9か国／ベトナム、シンガポール、台湾、中国、アメリカ、ポーランド、マルタ、ミャンマー、トリニダード・トバゴ）

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア支援事業

平成24年1月に締結した「伊勢市災害ボランティアセンターの設置と運営等に関する協定」に基づき、社会福祉協議会と協働で、伊勢市災害ボランティアセンターを運営している。センターは災害時以外も常時開設しており、各種研修事業を実施しているほか、災害時に備えた関係団体・機関等との協力支援体制構築に取り組んでいる。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、災害ボランティアのオンライン受付によるICTを活用した訓練を実施し、センター運営環境の整備を行った。

（1）会議・研修

開催日	内 容	開催場所	参加人数
4. 7. 15	伊勢市災害ボランティアセンター連絡会	防災センター	人 22
4. 7. 15	伊勢市災害ボランティアセンター運営者 専門研修会	防災センター	21
4. 8. 20	伊勢市災害ボランティア入門講座	いせ市民活動センター (オンライン)	8
4. 11. 26	技術系災害ボランティア養成研修	防災センター	43
5. 1. 28	災害ボランティアセンター運営訓練	ハートプラザみその	53

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」を活用し、公募市民の企画編集による啓発記事「めざそや！共同参画」を3回掲載した。

発行日	内 容
7月1日号	令和2年度 仕事と生活の調和实践賞受賞企業紹介 株式会社 コムデック
10月15日号	令和2年度 仕事と生活の調和实践賞受賞企業紹介 株式会社 ゴーリキ 令和2年度 女性活躍推進きらり賞受賞企業紹介 有限会社 くろべ
2月15日号	令和3年度 仕事と生活の調和实践賞受賞企業紹介 株式会社 堀崎組

2 男女共同参画推進事業

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第3次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取組を行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやる日として条例で定めた「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

ア 市庁舎における啓発

令和4年8月3日から17日まで、市役所本館において懸垂幕を掲揚するとともに、本館1階市民ホールにおけるパネル展示により、来庁者へ啓発を行った。

イ CATVによる啓発

令和4年8月6日から19日まで、CATVナレーション放送による周知を行った。

ウ 講演会の開催

開催日 令和4年8月6日

場 所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール

講 師 茅原 ますみ さん（フリーアナウンサー）

テ ー マ スイッチの切り替えが大切～仕事も家庭も私自身も～

参加人数 77人

(2) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画に関する機運の醸成や意識啓発を効果的に行うことを目的に、毎年、男女共同参画週間を中心に開催している。令和4年度は、本市を含めた県内14会場で開催した。

(伊勢市での開催状況)

開催日 令和4年6月26日

場 所 小俣図書館2階ホール

上映作品 お終活～熟春！人生、百年時代の過ごし方～

参加人数 217人

(3) その他男女共同参画に関する啓発

ア 男女共同参画をテーマにした川柳を募集し、受賞者には賞品と記念盾を贈呈した。

応募期間 令和4年3月16日～5月16日

応募総数 72人 183句

最優秀賞作品 「満開だ！はずむ虹色ランドセル」

イ 親から子どもへの性教育勉強会を開催した。

開催日 令和4年5月29日

場所 御薊公民館2階講堂及びオンライン

参加人数 14人（会場5人、オンライン9人）

講師 さいとう まき さん

（とにかく明るい性教育「パンツの教室」協会 学校行政担当講師、保健師）

テーマ 子どもに大切なことを伝えられる大人になるための勉強会

ウ 男女共同参画週間にパネル展示等の啓発活動を行った。

実施期間 令和4年6月23日～29日

場所 本館1階 市民ホール

エ おばた参宮市&企業展において、パネルや紙芝居展示等の啓発活動を行った。

開催日 令和4年10月30日

場所 小俣農村環境改善センター

オ 「女性に対する暴力をなくす運動」に関するパネル展示等の啓発活動を行った。

実施期間 令和4年11月11日～25日

場所 本館1階 市民ホール

カ 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」主催の男性講座を共催で開催した。

開催日 令和4年11月20日

場所 東館4階4-3会議室（オンライン会場）

参加人数 7人（伊勢市参加者）

講師 田中 俊之 さん（社会学者、大妻女子大学准教授）

テーマ ^{いま}現代を生きる『男』のための処方箋

キ クリスマス親子映画祭を開催した。

開催日 令和4年12月25日

場所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール

上映作品 S I N G ネクストステージ

参加人数 209人

3 第4次伊勢市男女共同参画基本計画の策定

「第3次伊勢市男女共同参画基本計画」の計画期間が令和4年度末で終了するため、令和5年3月に「第4次伊勢市男女共同参画基本計画」を策定した。策定にあたっては、

伊勢市男女共同参画審議会に諮問を行い意見を求めた。市民及び事業所意識調査の結果、庁内推進委員会での協議結果及びパブリック・コメントによる意見等を踏まえた4回の審議会を経て、答申書が提出された。

(1) 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
第4次伊勢市男女共同参画基本計画策定業務委託	自 4. 5. 11 至 5. 3. 15	円 2,717,000	株式会社 総合環境計画 三重事務所

4 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

	開催日	内 容	出席委員数
第1回	4. 6. 16	・ 第4次伊勢市男女共同参画基本計画（第4次れいんぼうプラン）（案）について（副市長から諮問書提出） ・ 令和3年度実施状況報告書（案）について ・ 男女共同参画推進事業者等表彰選考委員会の設置について	人 15/16
第2回	4. 8. 30	・ 第4次伊勢市男女共同参画基本計画（第4次れいんぼうプラン）素案について ・ 令和3年度実施状況報告書（案）について	13/16
第3回	4. 10. 26	・ 第4次伊勢市男女共同参画基本計画（第4次れいんぼうプラン）素案について ・ パブリックコメントの実施について	12/16
第4回	5. 1. 19	・ 第4次伊勢市男女共同参画基本計画（第4次れいんぼうプラン）（案）について（市長へ答申書提出）	13/16

5 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問を実施した。また、事業者等における男女共同参画の取組を促進するため、積極的に取り組んでいる事業者等を募集したが、表彰対象事業者はなかった。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内 容
4. 11. 7 ～17	伊勢米穀企業組合 他13社	働きやすい職場づくり、女性管理職登用等の啓発

(2) 男女共同参画推進事業者等の表彰

- ・ 女性の活躍推進「きらり」賞
該当事業者なし（応募事業者 なし）

・仕事と生活の調和实践賞

該当事業者なし（応募事業者 1社）

6 女性活躍推進事業

女性のためのデジタルスキルUP初級オンライン講座の開催

働く女性や復職を考えている女性を対象に、デジタルに関する知識や技術を身に付け、活用し、自ら情報を発信していくための初級編講座（全2回）をオンラインで開催した。

講師 株式会社Eプレゼンス 代表取締役 川北 睦子 さん

(1) 開催日 令和5年2月5日

テーマ デジタルツール活用初級

参加人数 22人

(2) 開催日 令和5年2月19日

テーマ オンラインツールを活用（チラシデザイン作成）

参加人数 18人

7 DV等被害者にかかる事務

(申出件数)

内 容	新 規	解 除	変 更	継 続
件 数	17 件	15 件	11 件	31 件

8 出会い・結婚支援事業

平成27年10月にオープンした「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談対応、出会いの場となる婚活イベントの開催及び情報提供を行い、結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現を目指した。

(1) センターの事業内容

ア 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
いせ出会い支援センター運営にかかる業務委託	自 4. 4. 1 至 5. 3. 31	円 9,625,000	株式会社デルタスタジオ

イ 利用者件数

性 別	来 所	電 話	メー ル	相 談	チ ラ シ	計
男 性	649 件	290 件	248 件	250 件	907 件	
女 性	662	97	93	92		
計	1,311	387	341	342	907	3,288

ウ 婚活イベントの開催

市内又は近隣市町に在住・在勤している独身男女及び伊勢市に興味のある独身男女を対象に、出会いイベントを開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
4. 6. 26	生涯学習センター いせトピア 文化交流室	「夏の出会い応援交流会」 第1部 20代、第2部 30代の2部制 1対1トークタイム、投票等	人 20
4. 9. 25	県営サンアリーナ レセプションルーム	「秋の出会い応援交流会」 第1部 27歳～34歳、第2部 35歳～42歳の 2部制 1対1トークタイム、投票等	34
5. 3. 5	県営サンアリーナ レセプションルーム	「春の出会い応援交流会」 第1部 27歳～34歳、第2部 35歳～42歳の 2部制 1対1トークタイム、投票等	33

エ 恋活マッチングサポート

新型コロナウイルス感染症の影響から、婚活イベントの開催が困難な状況となる中、登録プロフィールから趣味や結婚観、休日の過ごし方等価値観の合う異性の友人を見つけ、気に入った方と顔合わせを行う「新たな出会いの場」を提供した。

登録者数 80人

閲覧者数 160人

引き合わせ数 34組

(2) 企業の結婚支援促進事業

市内及び定住自立圏域内市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。

登録企業数 209社

(3) 希望を叶えるライフプラン講義の開催

いせ出会い支援センターのセンター長が、皇學館大学の学生を対象に、伊勢志摩地域で仕事、結婚、子育ての希望を叶える地域づくりの必要性について講義を行った。

開催日 令和4年10月19日

場 所 皇學館大学（オンライン講義）

講 師 株式会社 デルタスタジオ 代表取締役 若林 辰也 さん

参加人数 大学生 232人

内 容 伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅱ

「NEXT 親世代と仕事・結婚・子育ての希望を叶えるライフデザインを考える」

(4) 伊勢市版婚姻届等の提供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、株式会社リクルートの専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。

・ダウンロード数

婚姻届 881件

出生届 113件

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 175 自治会の活動について、行政委員等の候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

報償費総額 7,480,000 円

2 自治会活動補助事業

(1) 振興助成金事業

市内 59 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため、助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	計
本庁管内	自治会 10	世帯 1,531	円 500,000	円 535,850	円 1,035,850
支所管内	20	6,208	1,000,000	2,172,800	3,172,800
小俣総合支所管内	29	8,656	1,450,000	3,029,600	4,479,600
計	59	16,395	2,950,000	5,738,250	8,688,250

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。

補助金額の算定は、対象事業費に3分の2を乗じた額か、世帯数に応じて算出された額のいずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

ア 地域に根ざした伝統文化の継承事業	1件
イ 地域の特性を生かした地域おこし事業	0件
ウ 地域内の清掃美化等の環境保全事業	20件
エ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	0件
オ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	5件
カ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	2件
キ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	20件
ク その他市長が特に必要と認める事業	0件
計	48件

(対象自治会数) 59 自治会
 交付申請・決定 2,185,000 円 (41 自治会)
 交付確定 1,203,000 円 (31 自治会)

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して、交付金を交付した。

交付自治会数 59 自治会
 交付金額 32,271,000 円

3 コミュニティ助成事業

(一財) 自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

一般コミュニティ助成事業

自治会名	補助金額	事業名
御菌町新開区	円 2,500,000	テント他コミュニティ活動備品の整備
掛橋自治会	2,400,000	長胴和太鼓他コミュニティ活動備品の整備
小林区	1,100,000	清掃維持活動備品の整備
新出自治区	2,000,000	充電式草刈り機他コミュニティ活動備品の整備
計	8,000,000	4 自治会

コミュニティセンター助成事業

団体名	補助金額	事業名
上久保自治会	円 15,000,000	コミュニティセンターの建設

4 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の改築、修繕及びバリアフリー改修を行った自治会に対して補助金を交付した。

交付自治会数 6 自治会
 交付金額 10,381,000 円

自治会名	補助金額	補助種別
上久保自治会	円 7,000,000	改築
小計	7,000,000	1 自治会

自治会名	補助金額	補助種別
宮崎連合町内会	円 396,000	修繕
東豊浜町西条自治会	967,000	
吹上町会	1,000,000	
二俣1丁目町会	303,000	
荘区自治会	715,000	
小計	3,381,000	5自治会
合計	10,381,000	6自治会

5 伊勢市総連合自治会事務

各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動している伊勢市総連合自治会へ補助金を交付した。(補助金 1,189,868円)

6 認可地縁団体等関係

地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

地縁団体認可団体数 3団体 (累計認可団体数 103団体)

(上久保自治会、豆塚組、茶屋区)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

(1) ふるさと未来づくりの取組

平成27年度から本格稼働したふるさと未来づくり制度を推進し、地域自治の実現を図った。まちづくり協議会において、地域住民が地域課題を見つけ出し、課題解決に向けて取り組んだ。

- ・各団体の役割の整理を通じて負担軽減及び連携促進を図るため、神社地区振興会と協力し、「神社地区のまちづくりに関する意見交換会」を開催【神社地区まちづくり協議会】
- ・小中学生を対象に宿題・復習ができる放課後の居場所として「めいりん学習室」を開始【明倫地区まちづくり協議会】
- ・高齢者の生活支援事業として「沼木お助け隊」を開始【沼木まちづくり協議会】
- ・空家を活用した集いの場として「おいしい『かどや』」を開設【北浜まちづくり会議】等

(2) 広報活動

ふるさと未来づくり制度の概要やまちづくり協議会が新たに始めた事業の紹介を広報いせ

に掲載するとともに、伊勢市ホームページに各まちづくり協議会のホームページへのリンクを掲載し、活動を紹介した。さらに、地域の歴史や伝統文化、これまでの防災や地域活性化に向けた活動及び令和5年度以降の活動予定と意気込みについて、ケーブルテレビ行政番組で紹介した。

また、令和3年度に改訂を行ったリーフレット（まちづくりの必要性やまちづくり協議会の活動事例について紹介）を用いて周知・啓発を図った。

(3) 研修会、講演会等の開催

ア まちづくり研修会の開催

ふるさと未来づくりに対する理解をさらに深めるとともに、市全体の気運の醸成や課題解決、地域ニーズや組織運営の理解を図るため、まちづくり研修会を開催した。

開催日 令和4年9月4日（日）
場 所 伊勢市ハートプラザみその
内 容 ファシリテーションセミナー
～みんながHAPPYになる合意形成について～
講 師 パブリック・ハーツ株式会社 代表取締役 水谷 香織 氏
参加者 37人

イ まちづくり講演会の開催

地域活動の魅力・やりがいへの気づきを通じて、市民のまちづくりへの参加を促進し、地域活動人口の増加及びまちの活性化につなげるため、まちづくり講演会を開催した。

開催日 令和4年12月18日（日）
場 所 伊勢市ハートプラザみその
内 容 若者が伊勢を元気に！！ やってみよう、地域の活動！
講 師 株式会社 NEWYOUTH 代表取締役 若新 雄純 氏
参加者 150人

ウ ふるさと未来づくり意見交換会の開催

23地区のまちづくり協議会が集まり、抱えている課題等について話し合う場として意見交換会を開催した。

開催日 令和5年2月10日（金）
場 所 生涯学習センターいせトピア
内 容 ①ふるさと未来づくり資金（基金・臨時特例・返還等）について
②地域運営組織実態把握調査の結果について
③地域人材の確保・育成にかかる市の取組について
④意見交換会
⑤その他
参加者 43人

エ 地区担当職員会議の開催

新任地区担当職員向けにふるさと未来づくり制度について説明を行った。

開催日 令和4年6月9日（木）、10日（金）

内容 地区担当者制度、ふるさと未来づくり制度及びふるさと未来づくり資金の概要等について

参加者 計11人

<地区担当職員>

部課長級職員 82人

（内訳：進修、厚生、早修、中島、神社、大湊、浜郷、佐八、宮山、豊浜東、豊浜西、北浜、東大淀、四郷、小俣、明野、御薊は各3人、修道、明倫、有緝、城田、今一色は各4人、二見は5人、沼木は6人）

オ 職員向け研修の開催

ふるさと未来づくりに対する理解をさらに深めるため、人材育成カレッジ講座として一般職員向けに開催した。

開催日 令和4年8月17日（水）、10月19日（水）

内容 ふるさと未来づくり制度の概要、まちづくり協議会の取組、地域を支える人材の確保について

参加者 計29人

（4）まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

また、まちづくり協議会が実施する防災機能強化等地域課題解決のための事業に対し、活動事業費（臨時特例分）を交付した。

交付金額：172,004,807円

- ・事務運営費、活動事業費（基本額） 63,548,566円（23団体）
- ・活動事業費（臨時特例分） 3,428,957円（7団体、13件）
- ・一括交付金化事業 105,027,284円（18団体）

2 市民活動補償制度

ふるさと未来づくりでの活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた傷害事故や賠償責任事故を損害保険により、補償する制度を平成23年度から導入している。

保険の名称 伊勢市市民活動補償制度保険

保険期間 令和4年6月1日午後4時から令和5年6月1日午後4時まで

契約金額 896,560円

対象事故 傷害事故、賠償責任事故、特定疾病事故、一般疾病事故

適用件数 3件（傷害補償3件）

3 地域を支える人材確保の推進

地域社会を支えてきた地縁組織や市民活動団体等において、人口減少や少子高齢化、生活様式の変化や価値観の多様化、企業における定年延長等により、担い手不足が顕著になってきている。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行により、人と人との交流機会が失われ、地域のつながりの希薄化が進んだと考えられる。

令和4年度は、令和2年から令和3年にかけて実施した調査の結果をまとめ、全庁的に共有した。また、各部・各課が効率的に具体的取組を検討・実施できるよう、令和5年度以降の取組方針を策定した。

4 いせミライプロジェクト推進事業

地域活動人口の増加につなげることを目的に、高校生が自由にまちづくり活動を行う事業を、令和4年度から開始した。

対 象：市内在住又は市内の高校に通う高校生 15 人

協 力：伊勢市社会福祉協議会、いせ市民活動センター、皇學館大学

内 容	メンバー
街歩きパンフレット『イセシ』作成 完 成 日：令和5年3月9日 印刷部数：1,000部 配 布 先：マップ内掲載施設等40か所	人 6
「いせミライスポーツ大会 ～Play with all ages～」開催 開 催 日：令和5年1月14日 場 所：三重電子スマイルアリーナ小俣 参 加 者：47人	7
【伊勢のギフトPR】 おすすめのスイーツを選定し、伊勢市ふるさと応援寄附金の返礼品として発信 選 定 品：4点 情報発信：ふるさと納税ポータルサイトにおいて特集記事掲載 【スイーツ開発】 市内菓子店と、伊勢市の果物を使ったスイーツを開発 開発商品：①フルーツもちタルト ②花ちゃんのはなだんご 販売期間：①令和4年12月31日～令和5年3月31日 ②令和5年1月29日～令和5年3月31日 出 店：いせミライスポーツ大会 ～Play with all ages～（R5.1.14開催） 第11回いせ市民活動フェスティバル（R5.3.25開催）	2

5 支所の組織・機能のあり方の検討

支所再編の方向性の検討を進めていくため、伊勢市支所の組織・機能のあり方検討委員会において、支所業務の現状把握及び課題整理等を行った。

戸 籍 住 民 課

○ 戸籍住民係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数（令和5年3月31日現在）

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	55,058 世帯	799 世帯	229 世帯	56,086 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口（令和5年3月31日現在）

区 分	日本人	外国人	合 計	
人 口	男	56,964 人	537 人	57,501 人
	女	63,072	649	63,721
	計	120,036	1,186	121,222

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況（令和5年3月31日現在）

区 分	件 数	
届	転 入	2,948 件
	転 出	3,247
	転 居	1,907
	世 帯 変 更	1,388
出	そ の 他	27
	職	出 生
権	死 亡	1,790
	職 権 消 除	12
	修 正	1,776
計	13,796	

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口（令和5年3月31日現在）

戸 籍 数	59,889 戸籍
本 籍 人 口	141,466 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	545 件	342 件	887 件
婚 姻	441	810	1,251
離 婚	130	109	239
死 亡 ・ 失 踪	1,332	408	1,740
養 子 縁 組	43	25	68
養 子 離 縁	22	10	32
国籍の得喪・留保	8	12	20

本籍表示の変更	189 件	247 件	436 件
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	172	98	270
上記以外で身分に変更が生じるもの	12	9	21
訂正・追完	63	2	65
不受理申出	13	10	23
その他	1	3	4
計	2,971	2,085	5,056

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新戸籍編製	672 件
戸籍全部消除	1,009
違反通知	2
戸籍の再製・補完	0
その他	0
計	1,683

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	件 数
出 生	733 件
死 亡	1,855
死 産	7
婚 姻	476
離 婚	177
計	3,248

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,854 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 埋火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 火 葬	1,217 件	2 件	7 件	1,226 件

(7) 民刑事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	178 件
民事関係通知	41
身元事項照会	2,071
計	2,290

(注) 伊勢市総数

(8) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数 (注) 伊勢市総数

出生届 12 件 ・ 婚姻届 141 件

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し	本庁	26,978 件 (7,272) 〔2〕	2,937 件	29,915 件 (7,272) 〔2〕	5,395,600 円 (1,454,400) 〔400〕	
	支所	6,400	20	6,420	1,280,000	
住民票の除票の写し	本庁	1,724 〔5〕	1,396	3,120 〔5〕	344,800 〔1,000〕	
	支所	194	3	197	38,800	
広域交付住民票の写し	本庁	59	0	59	11,800	
	支所	1	0	1	200	
戸籍の附票の写し	本庁	1,722 (209) 〔10〕	3,372	5,094 (209) 〔10〕	344,400 (41,800) 〔2,000〕	
	支所	594	6	600	118,800	
戸籍の附票の 除票の写し	本庁	477 〔5〕	2,142	2,619 〔5〕	95,400 〔1,000〕	
	支所	188	1	189	37,600	
住民票記載事項証明	本庁	622	3	625	124,400	
	支所	220	0	220	44,000	
住民基本台帳閲覧	本庁	102	6	108	20,400	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	16,492 (6,476)	14	16,506 (6,476)	3,298,400 (1,295,200)	
	支所	5,597	22	5,619	1,119,400	
諸 証 明	身 分 証 明	本庁	697 〔36〕	0	697 〔36〕	139,400 〔7,200〕
		支所	145	0	145	29,000
	そ の 他	本庁	294 〔16〕	154	448 〔16〕	58,800 〔3,200〕
		支所	69	14	83	13,800
本 庁 計		49,167 (13,957) 〔74〕	10,024	59,191 (13,957) 〔74〕	9,833,400 (2,791,400) 〔14,800〕	
支 所 計		13,408	66	13,474	2,681,600	
合 計		62,575 (13,957) 〔74〕	10,090	72,665 (13,957) 〔74〕	12,515,000 (2,791,400) 〔14,800〕	

(注1) () はコンビニ交付、〔 〕 はオンライン申請による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件
住民基本台帳の閲覧団体数 32団体(うち公用 6団体)

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分		件 数			収 入 金 額	
		有 料	無 料	計		
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,406 件 (1,326) [112]	3,787 件	14,193 件 (1,326) [112]	4,682,700 円 (596,700) [50,400]
		支所	2,551	5	2,556	1,147,950
	個人事項 (抄 本)	本庁	2,198 (676) [10]	84	2,282 (676) [10]	989,100 (304,200) [4,500]
		支所	687	2	689	309,150
	一部事項	本庁	0	8	8	0
		支所	0	3	3	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	12,604 (2,002) [122]	3,879	16,483 (2,002) [122]	5,671,800 (900,900) [54,900]
		支所	3,238	10	3,248	1,457,100
計		15,842	3,889	19,731	7,128,900	
除 籍 改 製 原 籍 戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	11,066 [100]	8,643	19,709 [100]	8,299,500 [75,000]
		支所	2,572	10	2,582	1,929,000
	個人事項 (抄 本)	本庁	62	15	77	46,500
		支所	14	0	14	10,500
	一部事項	本庁	0	2	2	0
		支所	0	0	0	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	11,128 [100]	8,660	19,788 [100]	8,346,000 [75,000]
		支所	2,586	10	2,596	1,939,500
計		13,714	8,670	22,384	10,285,500	
受 理 証 明 等	本庁	498 <74>	0	498 <74>	252,000 <103,600>	
	支所	6	0	6	2,100	
届 書 記 載 事 項 証 明	本庁	12	3	15	4,200	
	支所	0	0	0	0	
関 覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
本 庁 計		24,242 (2,002) [222] <74>	12,542	36,784 (2,002) [222] <74>	14,274,000 (900,900) [129,900] <103,600>	
支 所 計		5,830	20	5,850	3,398,700	
合 計		30,072 (2,002) [222] <74>	12,562	42,634 (2,002) [222] <74>	17,672,700 (900,900) [129,900] <103,600>	

(注) () はコンビニ交付、[] はオンライン申請、< > は特別受理証明書による内数

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	取 扱 件 数
戸 籍 関 係 証 明	8,593 件	5,398 件	881 件	24,294 件
住 民 票 関 係 証 明	4,554	4,361		
諸証明関係(身分証明等)	386	121		
計	13,533	9,880		

(注) 「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(4) マイナンバーカードの交付・電子証明書の発行状況

区 分	有 料	無 料	計	金 額
マイナンバーカード	204 件	22,096 件	22,300 件	163,200 円
電 子 証 明 書	202	25,266	25,468	40,400

ア 窓口でマイナンバーカードの交付申請補助を行った。

件数 5,014 件 (支所取り扱い分 530 件含む)

イ 企業等でマイナンバーカードの出張申請を行った。

件数 131 件

(5) コンビニ交付

全国のコンビニエンスストア等店舗において各種証明書が取得できるようにすることで、市民の利便性とサービス向上を図った。

取得できる証明書	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し、所得(課税)証明書、課税証明書、非課税証明書
利用可能店舗 (令和5年3月31日現在)	全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、イオンリテール、ミニストップ、ポプラ、イオン北海道、日本郵便、ウエルシア薬局、平和堂、イオン九州、丸久、マルト、イオン琉球、光洋、イオン東北、フジ、島忠、スパーク、カスミ、銀ビルストア、マックスバリュ南東北、中部薬品、クリエイトエス・ディー、仁科百貨店、ラルズ、オークワ、サッポロドラッグストア、ココカラファインヘルスケア、たつみ、ユニバース、福井県民生活協同組合、光洋(シャープ)、グランマート、マックスバリュ東海、マックスバリュ西日本、生活協同組合コープしが、道南ラルズ、ハセガワストア、タイエー、遠鉄ストア、サンフレッシュ(マルチコピー機を設置している店舗に限る。)

(6) オンライン申請

令和4年2月1日より、デジタル政策課が導入した汎用的なオンライン申請システムを活用し、住民票及び戸籍の証明書の「オンライン申請(スマート申請)」のサービスを開始した。

利用者は市役所の窓口やコンビニ等へ出向くことなく、証明書を取得できるようになり、窓口の混雑緩和及び市民の利便性とサービス向上を図った。

各種証明書の発行状況

オンライン申請の 入 口 名 称	証明書の種別	入 口 別 申請件数	証明書別 発行件数	返 戻 (差し戻し・取下げ)
住 民 票 の 写 し	住民票の写し	7 件	2 件	21 件
	住民票の除票の写し		5	
戸 籍 ・ 改 製 原 ・ 除 籍 謄 (抄) 本	戸籍謄(抄)本 (戸籍全部(個人)事項証明)	118	122	
	改製原戸籍謄(抄)本		62	
	除籍謄(抄)本 (除籍全部(個人)事項証明)		38	

戸籍の附票の写し	戸籍の附票の写し	12 件	10 件
	戸籍の附票の除票の写し		5
身分証明書	身分証明書	30	36
独身証明書	独身証明書	15	16
計		182	296

(注) 「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数(令和5年3月31日現在) 83,758件(伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分		件 数
増	登 録	3,493 件
	そ の 他	1
	計	3,494
減	廃 止	132
	亡 失	1,070
	死 亡	1,610
	転 出	1,270
	そ の 他	156
	計	4,238

5 支援措置関係

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票の写し発行抑止及び戸籍の附票の写し発行抑止を行った。

住民基本台帳事務における支援措置者数(令和5年3月31日現在)

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	38 人	49 人	87 人
他市からの支援要請	76	75	151
計	114	124	238

6 特別永住者関係

特別永住者証明書の交付申請等を受け、法務省へ申請書を送付し、届いた証明書を申請者へ交付した。

特別永住者事務状況(伊勢市総数)

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	0 件	再 交 付 (交 換 希 望)	0 件
証 交 付 (法 施 行 前 未 取 得)	0	再 交 付 (紛 失)	0
証 交 付 (切 替)	0	有 効 期 間 更 新	12
再 交 付 (汚 損 等)	0	記 載 事 項 変 更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定、変更し、それぞれの申請者へ通知した。

新規付定

住居	事務所	事業所等	計
85件 (32)	1件 (0)	11件 (0)	97件 (32)

(注) () はうち枝番号の付定数

変更

住居	事務所	事業所等	計
2件 (2)	0件 (0)	0件 (0)	2件 (2)

(注) () はうち枝番号への変更数

8 自衛官募集事務

自衛隊三重地方協力本部伊勢地域事務所長から依頼を受け、懸垂幕掲示、広報いせ、文字放送を通じての広報等、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から8名（陸上自衛隊5名、航空自衛隊2名、防衛医科大学校1名）の入隊者があった。

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

安定した市民サービスと民間事業者の技術と創意工夫を活用したより一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

(1) 業務内容

- ・証明書交付請求の受付
- ・証明書の発行・交付
- ・戸籍届出（出生・死亡・婚姻・離婚等）の受付・入力業務
- ・住民異動届の受付・入力業務 等

(2) 履行期間 令和3年1月1日から令和5年12月31日（3年間）
（契約締結日 令和2年8月17日）

(3) 契約金額 168,228,000円（税抜）
うち令和4年度分 56,076,000円（税抜）

(4) 委託業者 株式会社 ニチイ学館
東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地

10 マイナンバーカードの取得促進の取り組み

(1) マイナンバーカード取得促進キャンペーン期間中にマイナンバーカードを新規申請した者にQ.U.Oカード（2,000円分）を進呈した。

- ・期間 令和4年11月1日（火）から12月31日（土）
- ・対象者 キャンペーン期間中にマイナンバーカードを新規申請し、令和5年3月10日（金）までにマイナンバーカードの交付を受けた者
- ・配布件数 13,332件（伊勢市総数）

(2) 商業施設等でマイナンバーカードの出張申請サポートを実施した。

- ・実施期間 令和4年11月2日（水）から令和5年2月28日（火）
- ・回数 30回
- ・件数 3,667件
- ・委託先 株式会社 日本旅行伊勢支店

(3) マイナポイント第2弾への申し込みを希望する市民に対し、マイナポイント申込手を支援した。

- ・実施期間 令和5年2月1日(水)から令和5年3月31日(金)
- ・件数 3,241件
- ・委託先 株式会社 日本旅行伊勢支店

○ 支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区 分	神 社 支 所	大 湊 支 所	浜 郷 支 所	宮 本 支 所	豊 浜 支 所
戸 籍	679 件 396,950 円	315 件 172,650 円	1,165 件 694,850 円	503 件 279,450 円	796 件 459,000 円
住民基本台帳 関 係	994 198,800	474 94,400	1,564 312,000	860 171,800	809 158,800
印 鑑 証 明	567 113,000	376 75,200	993 198,400	662 132,200	701 137,800
諸 証 明	43 6,200	10 2,000	40 8,000	16 3,200	35 6,600
計	2,283 714,950	1,175 344,250	3,762 1,213,250	2,041 586,650	2,341 762,200
区 分	北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
戸 籍	730 件 426,800 円	977 件 573,750 円	468 件 268,500 円	217 件 126,750 円	5,850 件 3,398,700 円
住民基本台帳 関 係	896 178,600	1,192 237,600	557 111,200	281 56,200	7,627 1,519,400
印 鑑 証 明	791 158,200	765 152,200	497 99,000	267 53,400	5,619 1,119,400
諸 証 明	20 4,000	37 7,400	15 3,000	12 2,400	228 42,800
計	2,437 767,600	2,971 970,950	1,537 481,700	777 238,750	19,324 6,080,300

(注) 戸籍住民係中の3証明関係「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(2) マイナンバーカードの交付申請補助件数

神 社 支 所	大 湊 支 所	浜 郷 支 所	宮 本 支 所	豊 浜 支 所
89 件	15 件	61 件	108 件	32 件
北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
35 件	99 件	60 件	31 件	530 件

(注) 戸籍住民係中の3証明関係「(4) マイナンバーカードの交付・電子証明書の発行状況」の内数

(3) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
4. 6. 9	総会	令和3年度事業報告・決算報告 役員の選任 令和4年度事業計画（案）・予算（案）の承認	
4. 7. 1 ～12. 10	人権尊重啓発 ポスター・標語 募集事業	ポスター募集事業：市内小中学校児童生徒から 245点の応募 9月27日、10月7日ポスター審査 （市長賞9点、会長賞16点、奨励賞25点選出） 標語募集事業：市内に在住または通勤通学する15 歳以上の方（中学生を除く）から17点の応募 委員の投票により入賞者を決定 （市長賞1点、会長賞1点選出） 作品展示 11月 7日～11月15日伊勢市防災センター 11月16日～11月24日イオンタウン伊勢ララパーク 11月25日～12月 4日伊勢市立伊勢図書館	広報いせ7月15 日号で公募 ZTVで市長賞 の作品を放映
7. 12	第1回 人権セミナー	演 題「謂れなき差別について-人権・同和問題 の歴史から-」 講 師 味岡 一博 さん（元伊賀市立青山中 学校） 場 所 御薊公民館 2階講堂	参加者27人
7. 30	いせ人権映画 祭・上映会（市と 共催）	令和3年度コロナウイルス感染症のため中止とな った「第7回ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM いせ人 権映画祭」の応募作品を上映。 場 所 ハートプラザみその 多目的ホール	参加者130人
10. 20	第2回 人権セミナー	演 題「高齢者の人権について～今日的な問題・ 課題～」 講 師 大谷 徹 さん（公益財団法人 反差 別・人権研究所みえ理事長） 場 所 御薊公民館 2階講堂	参加者28人
11. 2	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業経過報告、 人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場 所 東庁舎 4-4会議室	

11. 17	第3回 人権セミナー	演 題「子どもの人権～まわりや社会のあり方で 取り戻せるもの～」 講 師 原田 朋記 さん（公益財団法人 反 差別・人権研究所みえ）（調査・研究員） 場 所 御薊公民館 2階講堂	参加者26人
12. 6	街頭啓発	人権週間にあわせ、市民の人権尊重の意識高揚を 目的に、協議会委員による啓発冊子・物品の配布 による啓発活動を実施 啓発場所 市内スーパー等7ヶ所 啓発物品配布数 890個	参加者31人
12. 10	人権講演会	演 題「スポーツと人権～可能性への挑戦～」 講 師 舞の海 秀平 さん（NHK 大相撲解説者 元小結・舞の海） 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的 ホール	参加者332人
5. 2. 11	いせ人権映画祭 （市と共催）	第8回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM いせ人権映 画祭 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的 ホール	参加者 191 人
2. 16	第4回 人権セミナー	演 題「インターネットと人権～人権を守る・個 人情報を守る・ネット活用を考える～」 講 師 中村 武弘 さん（一般社団法人 未 来の大人応援プロジェクト）（度会郡度会町教育 委員会 教育長）	参加者 22 人
3. 22	第2回委員会	令和4年度事業（見込）及び決算（見込）報告 令和5年度事業計画（案）及び予算（案） 場 所 東庁舎 4-3 会議室	
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	1,000 袋作成
随 時	人権啓発冊子発行	人権ハンドブックNo.24「ハラズメント」	1,000部作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住み
よい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 活 動	内 容	備 考
広報いせ人権情報掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもら うことを目的に、様々な人権情報を掲載し、市民 に人権について考える機会を提供した。	随時掲載
地域人権啓発紙の発行	市民館にて地域人権啓発紙を発行。（教育集会所、 児童センターほか、課職員が編集に参加）様々な 人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況 を掲載して、地域住民に人権について考える機会 を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行

人権週間パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、企業啓発、関係機関窓口、街頭啓発等で配布した。	パンフレット 1,800枚 啓発物品 (エコバック) 2,600個
人権啓発パンフレット及び啓発物品の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、人権17課題を簡潔にまとめた啓発用パンフレット及び啓発物品を作成し、行事等で配布し啓発をした。	パンフレット 3,000枚 クリアファイル 1,000枚
人権学習リーフレットの作成	vol.33「性の多様性について考えよう～みんなが自分らしくいるために～」をテーマにしたリーフレットを作成した。	vol.33 1,000部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	本庁及び各総合支所にて人権パネル展を開催。本庁・小俣総合支所において懸垂幕を掲出。市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	
企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】伊勢米穀企業組合、ダイム、伊勢夫婦岩パラダイス、山野建設、ヤマナカフーズ、伊勢萬、まる天、松屋製菓、鈴工、ヤマト電器、伊勢医心会神路園、邦栄会、生鮮市場ベリー小俣店、ミタス伊勢	14社訪問 啓発物品、パンフレット配布数 430個

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

3 人権擁護委員との連携

法務大臣から委嘱を受け、市内各地域で活動している17人の人権擁護委員と連携し人権啓発、人権相談を行った。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財源	
			内 県補助金	内 市 費
隣保館 運営事業費	22,776,097円	19,772,000円	14,707,000円	8,069,097円

2 事業内容

事業区分		館 別		朝熊市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員		
相 談 事 業	人 権 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	職 業 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	教 育 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	福 祉 相 談	0	0	1	1	1	1	1	1
	生 活 相 談	8	8	2	2	10	10	10	10
	健 康 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 相 談	0	0	12	12	12	12	12	12
講 座	福 祉 介 護 講 座	2	22	3	76	5	98	5	98
	成 人 学 習 講 座	0	0	3	77	3	77	3	77

3 成人学習講座詳細

項目		開 催 日	場 所	テ ー マ	講 師	参 加 人 数
館・回						
黒 瀬 市 民 館	第 1 回	4. 6. 17	黒瀬市民館	ものの見方・考え方について～黒瀬市民館館長をさせてもらって～	竹内 勇夫さん	人 28
	第 2 回	4. 8. 26	黒瀬市民館	子どもたちが危ない！インターネット社会の歩き方！～脳に・学力に・生活に、困ったことが起こる可能性が！～	出口 晃さん	18
	第 3 回	4. 10. 21	竹ヶ鼻町公民館	「子どもたちから学んだこと」	上地 明宏さん 西川 恒夫さん	31

4 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
黒 瀬 町 地 内	(注) 黒瀬市民館空調 機取替工事	空調機取替一式	円 2,182,400	4. 6. 6	4. 8. 9
朝 熊 町 地 内	(注) 旧大久保地区集 会所解体工事	解体工事 1棟	5,838,800	4. 8. 5	4. 10. 13

(注) 営繕課施行

○ 非核平和推進事業

1 非核・平和第43回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8月20・21日に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、第43回空襲展を開催した。

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の

尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月19日から8月1日まで本庁と二見総合支所で、8月2日から8月15日まで御園総合支所と小俣総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業への市内各市立中学校生徒代表の参加にあたり、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。（10校×1,100枚）

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、非核・平和推進に向け、活動に協力している。

（非核宣言自治体総数 1,664 自治体、内、協議会会員自治体数 353 自治体：令和5年5月1日現在）

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構であり、当市も趣旨に賛同し加盟し平和行政を進めている。

（平和首長会議加盟総数 世界 166 か国・地域 8,256 都市（内、日本国内 1,738 都市）：令和5年5月1日現在）

6 「国際平和デー」の周知

・国際平和デー「鐘の音とともに祈りを」

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9月21日正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施した。（寺院や教会等 100 か所に参加依頼）

○ 人権学習事業

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題として解決できるよう啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

市内各小学校区において、自治会長（区長）、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員となり人権啓発活動を行なっている 21 の人権・同和教育推進連絡協議会へ、委託金を支払い、活動の支援を行なった。

2 令和4年度伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、令和4年12月10日、舞の海秀平さん（NHK 大相撲解説者 元小結・舞の海）を講師に招き、いせトピアにて講演会「スポーツと人権 ～可能性

への挑戦～」を開催した。(参加者 332 人)

また、講演会開会行事として、市内小・中学生の代表各 1 名による人権作文の発表及び人権尊重啓発ポスター・標語の表彰式を行った。

3 第 8 回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM (いせ人権映画祭)

人権をテーマとした自主制作映像作品を全国の幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上を図ることを目的に映画祭を開催。コメンテーターに映画監督の瀬木直貴さんを招き、12 作品の上映を、いせトピアにて開催した。(上映会参加者 191 人)

応募していただいた上映作品は下記のとおり。

作 品 名	団 体 名	
ウクライナに平和を～ひまわりプロジェクト～	大羽 孝典	伊勢市
カメレオン	三重県立伊勢高等学校 放送部	伊勢市
カラフル ～自分らしく働いて、自分らしく輝く人があふれる社会へ～	鳥羽市役所 市民課	鳥羽市
君へ	桜丘高等学校 放送部	伊賀市
この国で、幸せになるの。	市川 良也	四日市市
少しのことで広がる悪夢	藤川 花音	鈴鹿市
小さなきらめき 北岡 青 彫刻展	三好 定夫	伊勢市
ハイヒール	シネマウント・フィルム・パーティー	千葉県
Feeling	三重高等学校 放送部	松阪市
僕は魔法少女になりたかった	三重県立松阪高等学校 放送部	松阪市
無菌蔵から	映像 CUBE	松阪市
夢咲案内人・私の街の物語	エトセトラ・ムービー	東京都

4 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身につけた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として 4 回の講座を開催した。(延べ参加者 102 人) 各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加人数
第 1 回	4. 7. 24	御菌公民館	子どもの人権	元大阪教育大学教授 園田 雅春さん	人 31
第 2 回	4. 10. 2	御菌公民館	性的少数者の人権	公益財団法人反差別・人権研究所みえ 本江 優子さん	23
第 3 回	4. 11. 20	御菌公民館	インターネットと人権	一般社団法人 未来の大人応援プロジェクト (度会郡度会町教育委員会 教育長) 中村 武弘さん	26
第 4 回	5. 1. 15	御菌公民館	くらしと人権	みえ人権教育・啓発研究会 若山 公治さん	22

環 境 課

○ 環境全般

1 第3期伊勢市環境基本計画の改定

市の環境の保全に関する目標、基本的方向及び配慮の指針等について定める第3期伊勢市環境基本計画（計画期間：令和2年度～令和11年度）について、国の2050年カーボンニュートラル宣言や温室効果ガス排出量削減目標の引き上げを踏まえ、伊勢市環境基本計画に内包する「伊勢市地球温暖化防止実行計画」の見直しを行うとともに、分野横断的取組に掲げる目標指標について、関連計画の策定を受けて修正を行った。

計画の改定に当たっては、伊勢市環境審議会を開催し審議を行った。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者7人

学識経験を有する者3人

その他市長が必要と認める者6人

会 長：中松 豊 氏（皇學館大学教育学部教授）

副会長：山村 直紀 氏（三重大学大学院工学研究科准教授）

【開催実績】

	開催日	内容
第1回	4. 7. 15	第3期伊勢市環境基本計画の進行管理について 第3期伊勢市環境基本計画の改定について
第2回	4. 9. 1	第3期伊勢市環境基本計画（改定案）について
第3回	5. 1. 19	第3期伊勢市環境基本計画（改定案）パブリック・コメント結果について

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。

市役所本庁舎及び各総合支所にて取り組む事務活動について、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）の4項目の実績把握を行うとともに、クールビズ等の取組及び意識啓発等を行っている。

【使用量・排出量の実績】

区分	2年度	3年度	4年度
事務用紙使用量（千枚）	11,136	10,823	10,747
可燃ごみ排出量（袋）	4,892	5,591	5,113
電力使用量（kWh）	1,470,949	1,470,574	1,466,600
ガソリン使用量（ℓ）	82,881	83,831	85,496
軽油使用量（ℓ）	72,215	48,328	46,265

3 環境啓発・環境教育の推進

(1) 環境フェア

市民の皆様への環境に関する意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的として、令和4年10月10日（月・祝）に、三重県営サンアリーナにおいて「伊勢市環境フェア～みんなで脱炭素社会をめざそう！～」を開催し、約5,000人に来場いただいた。

開催に当たっては、環境活動に取り組む事業所や団体、大学等の出展協力を得て、多様な体験等の企画を実施した。

※福祉フェスティバル実行委員会（勤労者地域づくり等参画支援事業実行委員会）主催の「2022福祉フェスティバル 勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」と同時開催。

(2) 伊勢市環境会議の関連事業

伊勢市環境会議は、伊勢市の環境保全・環境意識の向上を目的に、市民や企業の代表者、行政等により平成25年4月に発足した。毎月の例会において会員が知恵を出し合い、協力して啓発事業等を行っている。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策が取れる事業のみ実施した。

実施日	事業名	概要	備考
4. 4. 17	環境工房 「草木染め～さくら～」	身近な自然に目を向けるきっかけとなるよう、桜の枝を使用しエコバッグの絞り染めを行う講座を実施した。	参加者 12人
4. 4. 20 4. 6. 23 4. 7. 3 4. 8. 24 4. 9. 28 4. 10. 19 4. 11. 16 4. 12. 21 5. 1. 18 5. 2. 23 5. 3. 15	いきもの調査	勢田川流域において、かご網等で生物を採集し、種類を特定する生物調査を実施した。	実施場所 船倉排水機場付近 船倉排水機場付近 三重県伊勢庁舎付近 三重県伊勢庁舎付近 有蓮橋付近 いな川排水機場 勢田川排水機場 錦水湯付近 有蓮橋付近 橋詰公園付近 勢田大橋付近
自治会会場 4. 5. 15 ～4. 7. 31 一般会場 4. 7. 3	勢田川七夕大そうじ	「勢田川を天の川に」をスローガンに、河川浄化と環境意識の啓発として勢田川沿岸で清掃活動を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として一般会場と自治会会場を設けて実施した。	参加者 一般会場 118人 自治会会場 641人
4. 5. 21	ごみゼロ早朝清掃	「ごみゼロの日」にちなみ、まちの美化意識啓発のため、五十鈴川河川敷、おはらい町周辺を早朝清掃した。	参加者 約150人

4. 6. 8	神前海岸清掃活動、水辺のごみ実態調査	南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議主催のごみ実態調査に参加した。	参加者 25人
4. 6. 8 4. 6. 23 4. 6. 27 4. 6. 29 4. 6. 30 4. 7. 1 4. 7. 13 4. 9. 2 4. 10. 14 4. 10. 18 4. 10. 21 4. 10. 25 4. 11. 9 5. 1. 18 5. 1. 19 5. 1. 24 5. 2. 28	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園の園児が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、会員が紙芝居を実施した。	参加者 豊浜西保育所 21人 一色保育園 37人 保育所きらら館 32人 しごうこども園 58人 えがおあけぼの保育園 83人 有緝こども園 103人 修道こども園 36人 保育所しらとり園 24人 伊勢けいゆう塾保育園 38人 東大淀保育園 32人 保育所ゆりかご園 28人 二見浦保育園 61人 御菌第一保育園 29人 浜郷保育所 51人 明野幼稚園 33人 御菌第二保育園 46人 有滝保育園 18人
4. 8. 7	いせトピア子ども夏まつり	特定非営利法人まなびの広場が主催するイベントにて、環境に関するクイズ、活動写真展示、いきもの調査取組展示、リサイクル品の展示を行った。	来場者 600人
4. 10. 10	伊勢市環境フェア～みんなで脱炭素社会をめざそう！～	三重県営サンアリーナで行われた伊勢市環境フェアにおいて、環境意識の啓発を目的に体験ブース等を出展した。	来場者 約5,000人
表彰式 4. 10. 10 放送日 4. 11. 19 ～11. 25 展示期間 ミタス伊勢 4. 11. 22 ～11. 30 ララパーク 5. 1. 6 ～ 1. 13	MOTTAINAI(もったいない)ポスターコンクール	ごみ問題について親子で取り組むきっかけ作り、また、子供たちのごみ問題に対するメッセージを広く市民に発信するため、市内小中学生を対象にもったいないに関するポスターを募集した。伊勢市環境フェアにおいて受賞者への表彰式を実施し、入賞作品は市内商業施設等にて展示するほか、ケーブルテレビにて放送した。	応募総数 397作品 (入賞 51作品)
4. 11. 11	奈佐の浜海岸清掃	南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議主催のごみ実態調査に参加した。	参加者 43人

4. 12. 1 ～12. 26	環境会議の活動写真展示	環境会議の取組を紹介するため、百五銀行伊勢支店のロビーに活動写真等を展示した。	
4. 12. 11	みえ環境フェア	メッセウイング・みえで開催された、三重県地球温暖化防止活動推進センター主催の、みえ環境フェアに参画し環境に関するクイズ、活動写真展示、いきもの調査取組展示を行った。	来場者 約4,500人
5. 1. 8	いせトピア子ども新春まつり	特定非営利法人まなびの広場が主催するイベントにて、環境に関するクイズ、活動写真展示、いきもの調査取組展示、リサイクル品の展示を行った。	来場者 487人
5. 2. 9 5. 2. 15 5. 2. 16 5. 2. 20 5. 2. 22	地球温暖化防止街頭啓発	地域住民等の地球温暖化防止に関する意識の向上を図るため、啓発チラシを配布した。	実施場所 ぎゅーとら小俣店 イオン伊勢店 ぎゅーとら藤里店 伊勢みそのショッピングセンター ミタス伊勢
5. 2. 23	勢田川に親しむ事業（勢田川ウォッチング）	勢田川を身近に感じてもらえるよう、親子等を対象に、勢田川の名所や動植物等の観察会を実施した。	参加者 10人
随時	ボランティア清掃ごみ袋	少人数での河川等のボランティア清掃を支援するため、ボランティア清掃ごみ袋を配布した。	配布枚数 1,253枚

(3) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成20年7月11日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、教育学部生物学ゼミ及び理科教育学ゼミによる昆虫を活用した環境に関する出前講座を実施しており、小学校6校において出前講座を実施した。

また、教育学部家庭科教育ゼミとの連携により、夏休みに親子で環境について学ぶための環境講座を開催するとともに、伊勢市環境フェアにおける環境啓発を実施した。

【出前講座実績】

実施日	小学校名	学年・人数
4. 6. 17	四郷小	1年生 17人
4. 6. 24	明倫小	1年生 42人、3年生 50人
4. 7. 8	明倫小	2年生 40人
4. 7. 11	中島小	1年生 43人
4. 9. 6	小俣小	6年生 59人

4. 9. 7	小俣小	6年生 59人
4.10.17	早修小	1年生 16人、2年生 10人
4.11. 7	東大淀小	3年生 14人

【環境講座実績】

実施日	実施場所	内 容	参加者
4. 8.21	生涯学習センター いせトピア	環境講座「野菜スタンプ でエコバッグ作り」	6組 18人 (大人7人、子供11人)

(4) 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、環境教育に関する協定書を締結している。

協定に基づき、市内の小学校向けに環境出前講座等を実施した。多数の講座が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

【環境出前講座等実績】

実施主体	実施日	小学校名	学年・人数	概 要
中部電力	4. 6.24	宮山小	6年生 43人	電気のしくみに関する出前講座
三十三銀行	4.10.14	早修小	5年生 23人	キッズ ISO14000 プログラム説明
	4.12.16	早修小	5年生 21人	キッズ ISO14000 プログラム結果
横浜ゴム	4.10.25	みなと小	4年生 45人	生物多様性保全活動等に関する出前授業

<参考：協定年月日及び協定先>

平成 23 年 9 月 30 日 中部電力株式会社（現：中部電力パワーグリッド株式会社）

平成 27 年 1 月 26 日 株式会社第三銀行（現：株式会社三十三銀行）

平成 28 年 1 月 22 日 横浜ゴム株式会社三重工場

(5) 電気バスを活用した環境教育

三重交通株式会社が平成 26 年 3 月に導入した電気バス（株式会社ポケモンの協力を得て、車両内外にポケモンキャラクターのラッピングを施し「ポケモン電気バス」として運行）を活用して環境教育を実施した。

実施日	小学校名	学年・人数
4. 9.27	中島小	3年生 34人、5年生 42人
4. 9.28	中島小	1年生 44人
4.12. 8	早修小	1年生 19人、2年生 10人

(6) 三重県環境学習情報センターとの連携事業

三重県環境学習情報センターとの連携により、環境講座を実施した。

実施日	実施場所	内 容	参加者
4. 4.17	ハートプラザみその	環境工房「草木染め～さくら～」	12人

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 ゼロカーボンシティいせの表明

市民・事業者・行政が一体となって脱炭素社会の実現を目指すため、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティいせ」を令和4年10月10日に表明した。

表明に当たっては、伊勢市長が、伊勢市総連合自治会、伊勢商工会議所、伊勢小俣町商工会、公益社団法人伊勢市観光協会の皆様と共に、伊勢市環境フェアの会場内で表明した。

2 カーボンニュートラルに向けた事業者との協定締結

事業者との連携のもと、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進するため、事業者との協定を締結した。

協定締結日	協定締結先	協定名称
4. 12. 20	株式会社百五銀行	カーボンニュートラルの推進に関する連携協定
5. 3. 16	三重トヨタ自動車株式会社、株式会社トヨタレンタリース三重	次世代自動車等を活用したカーボンニュートラルの推進に関する包括連携協定

3 地球温暖化防止の啓発

市民の皆様には地球温暖化への意識を高めてもらい、一人ひとりの行動変容につなげるため、様々な手法により市民啓発を行った。

(1) 展示イベント

実施日	実施場所	概要
4. 6. 1 ～ 6. 10	ミタス伊勢 中央通路	地球温暖化防止啓発パネル展示
5. 1. 31 ～ 2. 9	伊勢図書館	地球温暖化防止啓発パネル展示、三重県環境学習情報センター主催ポスターコンクール入賞作品展示
5. 2. 19	ミタス伊勢 催事場	電気自動車の展示、エコドライブシミュレーター体験、地球温暖化防止啓発パネル展示

(2) 街頭啓発

実施日	実施場所	概要
4. 6. 3	ミタス伊勢	ゼロカーボンアクション30に関する啓発チラシ・啓発物品の配布
5. 2. 9	ぎゅーとら小俣店	家庭でできる省エネ及びエコドライブに関する啓発チラシ・啓発物品の配布
5. 2. 15	イオン伊勢店	
5. 2. 16	ぎゅーとら藤里店	
5. 2. 20	伊勢みそのショッピングセンター	
5. 2. 22	ミタス伊勢	

(3) 広報いせ特集記事掲載

掲載号	特集タイトル	主な内容
広報いせ 3月1日号	脱炭素社会を目指して	地球温暖化とカーボンニュートラル、ゼロカーボンシティ表明、津地方気象台へのインタビュー、企業の脱炭素推進の取組紹介、脱炭素な暮らし

4 エコドライブの推進

地球温暖化防止対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、次世代自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策が重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図っている。

展示イベントでのエコドライブシミュレーター体験・パネル展示や、街頭啓発でのエコドライブ啓発チラシの配布を行った。なお、JAFと連携して開催を予定していたエコドライブ講習会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

5 ノーマイカーデー（エコ通勤）の実施

職員の通勤における温室効果ガス排出の削減と率先垂範を目的として、ノーマイカーデーの取組を実施した。

【取組内容】

- ・勤務場所、職種等に関わらず、全職員対象
- ・毎月第3月曜日が属する週を「ノーマイカーウィーク」と位置づけ、期間中のエコ通勤の呼び掛け
- ・車やバイクを使わず、公共交通機関や自転車、徒歩、車の相乗りでの通勤の推奨

○ 生活排水対策の推進

生活排水処理施設の整備、生活排水対策にかかる啓発について計画的、総合的に推進することを目的に平成28年3月に「第2期伊勢市生活排水対策推進計画」を策定、令和3年3月に計画の見直しを行い、合併処理浄化槽の設置促進及び共同汚水処理施設の適正管理を推進している。

1 浄化槽設置整備事業補助金

合併処理浄化槽の設置を促進するため設置者に対し補助を行った。

(1) 予定処理区域外（予定処理区域内低地等含む。）

【新築】

人槽	設置費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付額 計
5	千円/件 168	基 82	千円 13,776
7	207	23	4,761
10-50	276	2	552
合計	-	107	19,089

【単独処理浄化槽からの転換】（建替えなし）

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計
5	千円 332	基 4	千円 1,328	千円 300	件 18	千円 5,174	千円 90	件 13	千円 1,170
7	414	13	5,382						
10-50	548	1	548						
合計	-	18	7,258	-	18	5,174	-	13	1,170

【単独処理浄化槽からの転換】（建替えあり）

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計
5	千円 332	基 1	千円 332	千円 60	件 2	千円 120	千円 90	件 2	千円 180
7	414	1	414						
10-50	548	0	0						
合計	-	2	746	-	2	120	-	2	180

【くみ取りからの転換】

人槽	設置費用			配管費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計
5	千円 332	基 17	千円 5,644	千円 60	件 20	千円 1,200
7	414	3	1,242			
10-50	548	0	0			
合計	-	20	6,886	-	20	1,200

(2) 予定処理区域内

【新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換】

人槽	設置費用		
	補助金限 度額	交付 基数	交付 額計
5	千円/件 110	件 17	千円 1,870
7	138	19	2,622
10	182	0	0
合計	-	36	4,492

※予定処理区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外

2 共同汚水処理施設修繕工事補助金

住民が組織する団体が管理する共同汚水処理施設の適正な維持管理を促進するため、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上）を実施した管理団体に対し補助を行った。

団地名(人槽)	事業費	補助金額	事業概要
大倉うぐいす台団地 (1,400人槽)	円 1,545,500	円 515,000	曝気ブロワーNo.1修理 放流部流量計更新工事
イトーピアふじが丘団地 (2,800人槽)	2,931,500	977,000	自動荒目スクリーン取替 ポンプ槽ブロワー修繕 流入ポンプNo.2取替 汚泥排出ポンプNo.2取替 ろ過ポンプNo.3取替 脱臭塔修繕
オークランド辻久留台 (1,000人槽)	2,090,000	696,000	曝気ブロワーNo.1交換工 事
計	6,567,000	2,188,000	-

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に大気汚染常時監視測定局を設置（昭和 63 年 3 月測定開始）し、二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等について測定調査した。結果については、三重県ホームページに掲載されている。

（1）光化学スモッグ発生状況

発令内容	回数
予報	なし
注意報	なし

2 水質調査

河川や幹線排水路及び海域の水質汚濁状態を把握するため、水質調査を行った。

（1）水質調査実施状況

区分	調査対象	地点数	項目数	回数
河川	10	13	6～11	4～12
幹線排水路	4	6	6～11	4～12
海域	1	1	8	4

（2）主な河川等のBOD調査結果

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	環境基準
勢田大橋（勢田川） （三重県公表値）	mg/l 3.9	mg/l 4.9	mg/l 4.6	mg/l 2.0	mg/l —	5 mg/l以下
桧尻川合流点（勢田川）	4.7	5.7	5.6	4.6	2.1	5 mg/l以下
中部幹線出口（勢田川）	13.0	6.1	6.2	5.1	4.8	5 mg/l以下
有滝橋（江川）	2.4	3.0	1.0	1.5	1.7	—
大堀川橋（大堀川）	3.6	3.2	1.1	2.8	3.3	—

※数値は75%値

（3）海域のCOD調査結果

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	環境基準
宇治山田港	mg/l 0.5未満	mg/l 0.5未満	mg/l 0.5未満	mg/l 0.5未満	mg/l 0.7	3 mg/l以下

※数値は75%値

3 騒音・振動調査

市内の騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

（1）環境騒音・道路交通振動調査

区分	地点数	基準適合地点
一般環境騒音	3	3/3
道路交通騒音	3	3/3
道路交通振動	1	1/1

（2）一般環境騒音調査結果

測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
				dB	dB
勢田町	第一種住居地域	B	昼間	55	46
			夜間	45	38

常磐2丁目1	近隣商業地域	C	昼間	dB	dB
			夜間	60	49
御菌町高向	未指定	—	昼間	—	46
			夜間	—	35

(3) 道路交通騒音調査結果

市内の主要幹線道路における環境基準達成状況を把握するため、騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、自動車騒音の常時監視を行った。この調査は、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査するもの。

測定地点 路線名	用途地域	地域類型	基準値		測定値
				dB	dB
勢田町 伊勢自動車道	第一種住居地域	B	昼間	70	63
			夜間	65	54
常磐2丁目1 鳥羽松阪線	近隣商業地域	C	昼間	70	67
			夜間	65	58
御菌町高向 伊勢松阪線	未指定	—	昼間	70	64
			夜間	65	54

(4) 道路交通振動調査結果

測定地点	用途地域	基準値		測定値
			dB	dB
岩淵1丁目7番 29号 伊勢市役 所	近隣商業地域	昼間	70	33
		夜間	65	31

4 悪臭調査

公害防止とともに生活環境の保全を図るため、市内の特定地点（1件）において臭気調査を行った。

5 公害苦情等処理状況

市民から電話、窓口等により寄せられる身の回りに関する苦情について対応した。

区分		2年度	3年度	4年度
典型 7 公害	大気汚染	件 63	件 53	件 45
	水質汚濁	4	11	8
	土壌汚染	0	0	0
	騒音	18	36	46
	振動	0	0	0
	地盤沈下	0	0	0
	悪臭	26	26	21
小計		111	126	120
その他	草刈り・樹木剪定	143	131	128
	害虫	9	10	14
	動物（犬猫等）	43	52	47
	その他	202	78	99
小計		397	271	288
合計		508	397	408

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また、特定建設作業に対する各種届出の受理業務を行った。

(1) 特定施設に関する設置等の届出

区分	3年度			4年度		
	設置届	廃止届	その他	設置届	廃止届	その他
大気汚染防止法	2件	3件	1件	1件	2件	3件
水質汚濁防止法	8	7	13	14	3	18
騒音規制法	1	1	4	3	0	1
振動規制法	0	0	3	1	0	0
三重県生活環境の保全に関する条例関係	ばい煙	1	1	0	1	1
	粉じん	0	0	0	1	0
	騒音	2	0	5	4	2
	振動	1	0	3	0	2
	揚水設備	0	0	0	1	0
ダイオキシン類対策特別措置法	0	0	0	0	0	0
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	0	0	8	0	0	16
計	15	12	37	26	10	56

(2) 特定建設作業に関する届出

区分	2年度		3年度		4年度	
	法律	条例	法律	条例	法律	条例
騒音	26件	3件	31件	5件	27件	1件
振動	13	1	18	2	22	1
計	39	4	49	7	49	2

(3) 伊勢市土地開発事業指導要綱第6条に基づく計画申し出にかかる協議・意見

区分	2年度	3年度	4年度
開発許可申請書に係る協議経過書	18件	17件	24件
大規模小売店舗立地法に基づく届出に係る意見	1	4	1
計	19	21	25

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市営大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地を効率的に管理するため、業務委託等を行い墓地の環境整備を行った。

(1) 管理区画数

区 分	3.3 m ² 以下	3.3 m ² 超 6.6 m ² 以下	6.6 m ² 超 9.9 m ² 以下	9.9 m ² 超	計
大世古墓地	区画 934	区画 485	区画 89	区画 101	区画 1,609
大湊墓地	805	82	7	2	896
小俣若山墓地	1,225	0	0	0	1,225
計	2,964	567	96	103	3,730

※令和5年3月末時点

(2) 使用状況

墓 地 名	新規使用	返還	残数
大世古墓地	区画 3	区画 16	区画 165
大湊墓地	1	4	58
小俣若山墓地	7	6	23
小俣若山納骨堂	14	1	287
計	25	27	533

※令和5年3月末時点

(3) 業務委託

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大世古墓地	市営大世古墓地管理等業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	円 1,379,000	4. 4. 1	5. 3. 31
大湊墓地	市営大湊墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	486,000	4. 4. 1	5. 3. 31
小俣若山墓地及び納骨堂	市営小俣若山墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	488,641	4. 4. 1	5. 3. 31
伊勢市役所環境課	伊勢市墓地管理システム運用保守業務委託	墓地管理システムの運用保守	475,200	4. 4. 1	5. 3. 31
大世古墓地	石材処分業務委託	無縁墓石等の処分	142,643	5. 1. 19	5. 3. 27
大世古墓地	無縁墓石等撤去及び改葬業務委託	無縁墓石等の撤去集積、撤去区画の埋蔵物を調査のうえ収蔵	572,000	5. 3. 15	5. 3. 27
計	—	—	3,543,484	—	—

(4) 賃借業務

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地駐車場賃借(小俣若山墓地)	4. 4. 1～ 5. 3. 31	円 240,000

(5) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
大世古墓地	市営大世古墓地水栓柱改修工事	自閉式水栓への変更、水栓柱パンの設置	円 68,640	4. 6. 17	4. 6. 29
大世古墓地	市営大世古墓地擁壁修繕工事	ブロックを積工し、整地する	99,000	4. 12. 28	5. 1. 23

大世古墓地	大世古墓地自動水栓取替工事	水栓の取替と養生	円 52,800	5. 1. 26	5. 2. 3
-------	---------------	----------	-------------	----------	---------

(6) 墓地管理手数料収納状況

区分	予算現額	調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現年度分	円 4,300,000	円 4,441,200	円 4,417,230	円 0	円 23,970	% 99.5
滞納繰越分		176,980	26,260	25,000	125,720	14.8
計	4,300,000	4,618,180	4,443,490	25,000	149,690	96.2

(7) 墓地管理手数料収納件数及び割合

区分	収納件数	割合
口座振替	件 1,366	% 41.1
窓口 納付	コンビニ等 1,228	36.9
	金融機関・市窓口 731	22.0
合計	3,325	100

2 共同墓地整備事業補助金

自治会等が管理する共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し補助を行った。

区分	事業費	補助金額	備考
馬瀬町共同墓地	円 1,271,600	円 423,000	駐車場整備
中須町墓地	102,740	34,000	階段整備
北山墓地	696,300	232,000	樹木伐採
朝熊稲葉岡共同墓地	1,463,000	487,000	樹木伐採、フェンス等整備、手すり整備
西之坂墓地	450,000	150,000	樹木伐採
小町塚墓地	682,000	227,000	フェンス等整備
津村町墓地	3,589,047	1,196,000	焼香場整備
江墓地	88,000	29,000	樹木伐採
計	8,342,687	2,778,000	

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、ハチ防護服の貸出を行った。また、煙霧消毒については、令和4年度から取り扱いが安全なボウフラ等駆除薬剤の配布に切り替えた。

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
ハチ防護服貸出	件 33	件 36	件 28	件 46
台風等による消毒剤配布	21	0	0	4
煙霧消毒	4	1	2	—
ボウフラ等駆除薬剤配布	—	—	—	2

2 公衆浴場に対する支援

市内にある公衆浴場の確保を図るため、伊勢公衆浴場組合を通じて、市内の公衆浴場5か所に

集客用の物品支援（トイレトペーパー1,920個、ボックスティッシュ1,260箱）を行った。

3 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行っている。令和4年度の申請数は1件、補助金額は300,000円であった。

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき、飼い犬情報の管理を行った。

区分		元年度	2年度	3年度	4年度
登録数		頭 7,523	頭 7,316	頭 7,158	頭 7,141
新規	動物病院	239	286	271	301
	窓口等	174	125	137	148
予防注射接種数		4,696	4,683	4,378	4,535
獣医師等		4,172	4,232	4,378	4,535
集合注射		524	451	—	—

※令和5年3月末時点

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を促進するため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区分		助成額/件	2年度		3年度		4年度	
			件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	雄	円 3,000	件 121	円 363,000	件 103	円 309,000	件 135	円 405,000
	雌	4,000	100	400,000	119	476,000	105	420,000
猫	雄	2,500	252	630,000	262	655,000	247	617,500
	雌	3,500	342	1,197,000	321	1,123,500	294	1,029,000
計			815	2,590,000	805	2,563,500	781	2,471,500

3 飼い主のいない猫対策

猫と人が共生できる社会を目指すとともに生活環境の保全を図るため、地元自治会、伊勢保健所、三重県動物愛護推進センター（あすまいる）、公益財団法人どうぶつ基金、動物ボランティアと連携しTNR活動を実施した。また、令和4年6月から、伊勢市が市内動物病院と委託契約を締結し、TNR活動の実施を開始した。

【TNR実施数】

区分		元年度	2年度	3年度	4年度
三重県動物愛護推進センター実施分	回数	8回	9回	7回	6回
	匹数	64匹	81匹	85匹	34匹
伊勢市委託分	回数	—	—	—	36回
	匹数	—	—	—	56匹

※TNR活動…飼い主のいない猫に対して、不妊去勢手術を行い元の場所に戻すことで繁殖を抑制し苦情や殺処分数の減少に寄与する活動

○ 水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道に関する届出、三重県小規模水道条例に基づく水道の届出について、届出受理業務を行った。

区分	3年度		4年度	
	設置届	廃止届	設置届	廃止届
水道法(専用水道)に基づく届出	件 0	件 0	件 3	件 0
水道法(簡易専用水道)に基づく届出	0	3	1	0
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0	0	1

○ 伊勢広域環境組合

し尿等処理、火葬業務等について、伊勢市、明和町、玉城町、度会町で構成する伊勢広域環境組合で衛生的、効率的に行った。

業務名	施設	構成市町
し尿等処理業務	クリーンセンター	伊勢市、玉城町、度会町
火葬業務	斎場	伊勢市、明和町、玉城町、度会町

(1) 分担金の推移 (伊勢市分)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
クリーンセンター	千円 196,279	千円 157,652	千円 179,505	千円 175,632
斎場	53,938	54,241	59,597	49,054

(2) 分担金内訳 (伊勢市分)

区分	クリーンセンター	斎場	計	備考
共通経費	千円 2,503	千円 533	千円 3,036	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	172,124	36,627	208,751	実績割 100%
建設経費	-4,739	11,894	7,155	平等割 10%、人口割 90%
公債費	5,744	0	5,744	元利補給金
計	175,632	49,054	224,686	—

(3) クリーンセンター処理実績

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	kg 44,338,550	kg 43,271,790	kg 42,187,660	kg 40,917,670
内 伊勢市分	37,247,730	36,247,220	35,202,540	34,222,700

(4) クリーンセンター処理状況

市内のし尿等の収集運搬について、し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 8 社による許可車両 35 台 (本許可車両 25 台、予備車両 10 台) で対応した。

月分	処理量(伊勢市・玉城町・度会町分)			
	kg	内 伊勢市分 kg	kg	
し尿			浄化槽汚泥	
4	3,493,520	2,962,190	438,500	2,523,690
5	3,091,310	2,542,250	375,190	2,167,060
6	3,700,580	3,058,230	446,200	2,612,030

7	3,736,500	3,174,500	389,590	2,784,910
8	3,097,620	2,426,640	414,400	2,012,240
9	3,199,690	2,703,780	421,430	2,282,350
10	3,511,580	2,950,230	423,910	2,526,320
11	3,007,000	2,492,450	368,920	2,123,530
12	3,829,190	3,123,960	524,050	2,599,910
1	3,101,360	2,718,410	310,810	2,407,600
2	2,949,910	2,457,930	355,530	2,102,400
3	4,199,410	3,612,130	391,510	3,220,620
計	40,917,670	34,222,700	4,860,040	29,362,660

(5) 斎場利用実績

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
総利用数 (伊勢市・明和町・玉城町・度会町・管外)	件 2,104	件 2,167	件 2,276	件 2,496
内 伊勢市分	1,479	1,550	1,633	1,774

※胞衣汚物及び霊安室利用を除く。

(6) 斎場利用状況

区分	明和町・玉城町・度会町	管外	伊勢市	計
12歳以上の者	件 595	件 121	件 1,768	件 2,484
12歳未満の者	0	0	2	2
死産児	3	3	4	10
計	598	124	1,774	2,496
胞衣汚物	29件			
霊安室利用	7件			

○ 生物多様性保全活動の推進

市内においてもブラックバスやミドリガメ、アライグマ等の外来生物が多く見られるようになり、外来種が在来種の生息に悪影響を及ぼしていることを認識し対策を進める必要がある。生物多様性保全活動の一環として動植物の生息・育成状況の把握に努めるとともに在来種の保護を行う活動、啓発活動を実施した。

実施時期	実施事業名	概要
4. 4.20 4. 6.23 4. 7. 3 4. 8.24 4. 9.28 4.10.19 4.11.16 4.12.21 5. 1.18 5. 2.23 5. 3.15	いきもの調査	市内の動植物の生息状況を把握することを目的として、採集、写真撮影により種の同定を行い、活動記録をホームページに掲載した。

※生物多様性…多様な生き物が多様な環境に豊かに生息している状態

ごみ減量課

○ ごみ減量推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 「伊勢市ごみ処理基本計画」の改定

一般廃棄物の排出抑制や適正な処理等を実現するために、可燃ごみの目標量や取組施策等について見直しを図り、本計画の改定版を策定した。

【可燃ごみの目標量】改定前：38,438 t 改定後：37,639 t

【主な重点施策】生ごみの減量に関する取組み、プラスチックごみの資源化の取組みなど

(2) 伊勢市廃棄物減量等推進審議会の開催

伊勢市ごみ処理基本計画の改定等について、審議を行った。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構成：学識経験者（2名）、市民（2名）、事業者等（2名）、地域住民組織（3名）、再生資源業者（1名）、関係行政機関（2名）

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

ア ごみ排出量の推移

種別	30年度	元年度	対前年度増減	2年度	対前年度増減	3年度	対前年度増減	4年度	対前年度増減
燃えるごみ	41,918 t	41,506 t	△1.0 %	39,709 t	△4.3 %	39,701 t	△0.0 %	39,231 t	△1.2 %
粗大ごみ	1,260	1,358	7.8	1,398	2.9	1,417	1.4	1,225	△13.5
小計	43,178	42,864	△0.7	41,107	△4.1	41,118	0.0	40,456	△1.6
資源物	5,913	5,844	△1.2	6,145	5.2	6,040	△1.7	5,680	△6.0
缶・金属類	938	911	△2.9	1,000	9.8	903	△9.7	824	△8.7
投棄場搬入量	550	576	4.7	166	△71.2	160	△3.6	148	△7.5
合計	50,579	50,195	△0.8	48,418	△3.5	48,221	△0.4	47,108	△2.3

※対前年度増減（%）＝（当該年度－前年度）／前年度×100

※資源物は、小型家電製品の収集量を含む。

イ ごみの各平均排出量

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
各年度末人口 (人)	126,060	125,043	123,853	122,580	121,222
各年度末世帯数 (世帯)	55,202	55,615	55,808	55,905	56,086
総ごみ排出量 (t)	50,579	50,195	48,418	48,221	47,108

1日平均排出量 (t/日)	138.57	137.14	132.65	132.11	129.06
1日1人平均排出量 (g/人・日)	1,099.26	1,096.78	1,071.04	1,077.76	1,064.68
1日1世帯平均排出量 (g/世帯・日)	2,510.2	2,465.97	2,376.94	2,363.16	2,301.16

※各年度末人口・世帯数は町別統計（住民基本台帳）を引用

ウ 処理経費の推移

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
処理経費	円 1,651,052,944	円 2,078,856,563	円 2,105,407,920	円 2,108,353,271	円 2,117,209,702
ごみ1t当りの 処理経費	32,643	41,416	43,484	43,723	44,944
1人当りの 処理経費	13,097	16,625	16,999	17,200	17,466
1世帯当りの 処理経費	29,909	37,379	37,726	37,713	37,749

※処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値（人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。）

※平成30年度の処理経費については、清掃工場整備基金積立金額を計上していない。

(2) 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーションや資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類についても中間処理施設の民間業者へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

ア 資源びんの委託量等の推移

区分	2年度		3年度		4年度	
	委託量	委託料	委託量	委託料	委託量	委託料
無色	kg 382,330	円 90,421	kg 368,960	円 74,677	kg 345,700	円 77,575
茶色	269,590	279,942	268,010	264,150	264,070	250,972
その他の色	157,350	237,126	159,110	214,400	147,180	305,663
計	809,270	607,489	796,080	553,227	756,950	634,210

イ その他資源物の委託量等の推移

区分	2年度		3年度		4年度	
	委託量	委託料	委託量	委託料	委託量	委託料
プラスチック 製容器包装	kg 944,360	円 509,010	kg 935,370	円 524,742	kg 900,710	円 525,113
ガラス・くずびん類	205,070	5,188,271	203,830	5,156,899	186,310	4,713,643
陶磁器類	336,430	12,952,555	313,340	12,063,590	283,100	10,899,350
乾電池	44,000	4,380,750	47,000	4,599,540	46,140	4,567,860
蛍光管	25,000	2,471,040	21,000	2,161,599	16,130	1,667,842
ガレキ類	103,580	350,152	165,850	575,762	88,270	316,481

※ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びんなどのこと。

ウ 紙類・布類の売却量等の推移

種 別	2 年度		3 年度		4 年度	
	売却量	売却額	売却量	売却額	売却量	売却額
新聞・折込チラシ	kg 731,950	円 2,536,300	kg 545,700	円 2,728,500	kg 468,610	円 2,495,802
雑誌・雑紙類	903,980	2,026,900	972,920	1,914,661	909,980	2,132,680
段ボール	618,050	2,561,152	800,410	2,716,622	772,450	3,089,800
飲料用紙 パック	200ml 以外	23,600 60,000	24,540	77,178	23,200	75,655
	200ml	0 0	0	0	0	0
布・衣類	239,920	98,248	215,190	21,519	171,870	17,187
計	2,517,500	7,282,600	2,558,760	7,458,480	2,346,110	7,811,124

※「雑誌・雑紙類」はシュレッダーを含む。

エ ペットボトルの売却量等の推移

区 分	2 年度		3 年度		4 年度	
	4 月～9 月	10 月～3 月	4 月～9 月	10 月～3 月	4 月～9 月	10 月～3 月
売却量 (kg)	160,290	-	-	145,990	187,160	141,090
売却額 (円)	126,604	-	-	1,781,644	8,085,336	13,371,138
委託量 (kg)	-	143,500	179,290	-	-	-
委託料 (円)	-	2,495,288	2,876,610	-	-	-

オ 資源化率の推移

年 度	2 年度	3 年度	4 年度
資源化率	25.1%	23.6%	22.4%
【参考】清掃工場焼却処理残渣【焼却灰】を含まない	15.8%	15.4%	15.4%

※資源化率 = (再生資源回収団体の資源回収量 + 市の資源回収量 + 清掃工場焼却処理残渣【焼却灰】) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

(3) 調査事業

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

ア 実施日 令和4年9月15日及び16日

イ 分別状況

品 目	割 合	品 目	割 合
生ごみ	36.5%	段ボール	0.8%
燃えるごみ	37.2	布・衣類	4.0
雑誌・雑紙類	7.5	プラスチック製容器包装	9.1
新聞・折込チラシ	1.7	ペットボトル	0.4
飲料用紙パック	0.6	缶・金属類	1.2
禁忌品	1.0		

3 3Rの推進

(1) 食品ロス削減に関する取組

ア 事業者及び高等学校との連携

市内でスーパーマーケットを展開している事業者8社及び三重県、市民団体が構成され

る「減らそに！いせの食品ロス協議会」において、賞味期限・消費期限の近くなった食品の廃棄を低減させる「2022 すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」（10月1日から31日までの1か月間）を宇治山田商業高等学校との連携により実施し、1,524名分の食品ロス削減につながった。

イ 全国おいしい食べきりネットワーク協議会への参画

全国439の自治体からなる協議会に参画しており、先進的な取組・施策の情報発信および情報収集に努めた。

ウ フードドライブの取組

伊勢市社会福祉協議会と株式会社ファミリーマートと連携して、家庭にある余剰の食品を市内7か所のファミリーマート提携店舗へ持ち込んでもらい、支援の必要な方へ届ける「ファミマフードドライブ」に取り組み、651kgの食品の回収を行った。

エ 食品ロス削減マッチングサービス「タベスケ」

「減らそに！いせの食品ロス協議会」と連携し、市内店舗（協力店）の賞味・消費期限が近い食品や商品をWEB上に掲載し、市民（ユーザー）とのマッチングを行う食品ロス削減マッチングサービス「もったいないやん!!～いせ×タベスケ～」を令和5年2月1日から開始した。協力店舗17店舗、ユーザー数712名の登録があり、タベスケにより、7.3kgの食品ロス削減につながった（令和5年3月末時点）。

(2) 雑がみ類の資源化に関する取組

ア 雑がみチャレンジの実施

市内の小学4年生を対象に、夏休みの期間を利用して雑がみの分別に挑戦する「雑がみチャレンジ」を実施した。市内の小学校12校がこの取組に参加し、児童536名が合計1,506kgを分別・資源化した。

イ 紙類の再資源化への取組

これまで資源化できなかった紙類の資源化を推進するため、「トイレの紙さまプロジェクト」を実施し、34,153kgの回収を行った。

(3) 生ごみの水切りに関する取組

ア ごみゼロチャレンジの実施

市内の小学5年生を対象に、夏休みの期間を利用してごみの減量に挑戦する「ごみゼロチャレンジ」を実施した。市内の小学校7校がこの取組に参加し、児童291名が生ごみの水切りに取り組んだ。

イ アイデア募集

家庭から出される生ごみの水切りを促進させるため、広報やホームページを通じて市民から生ごみの水切りアイデアの募集を行い、応募のあったアイデア10件分をホームページで紹介した。

ウ イベントでの啓発

各種イベントにおいて、チラシ配布による啓発を行った。

(4) マイボトル・マイカップ運動

ペットボトルやプラスチック製カップなど使い捨てプラスチックごみの発生抑制を推進していくため、マイボトル・マイカップ運動を展開し、広報及びホームページで取り組みを紹介し、マイボトル協力店として3店舗、マイボトル推進事業者として4事業所の登録があった。また、「2022 すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」の賞品に宇治山田商業高等学校の生徒デザインのステンレスボトルを採用した。

(5) ごみ減量大作戦 動画及びリーフレットの作成

具体的な数値を用いてごみの減量を実感してもらい、正しい知識や分別方法などを理解してもらうため、動画及びリーフレットを作成し、また、動画についてはYouTubeで配信した。

(6) ごみ減量化容器設置補助金事業

ア 生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
2年度	100 件	105 基	1,710,600 円
3年度	62	62	1,144,000
4年度	61	61	1,126,000

イ 事業所用

令和4年度交付実績なし

(7) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録団体数	交付団体数	回 収 量					奨励金交付額
			紙 類	布 類	金 属 類	計	びん	
	団体	団体	kg	kg	kg	kg	本	円
2年度	167	133	1,232,385	39,540	44,517	1,316,442	111	3,946,920
3年度	157	127	1,112,067	30,715	36,714	1,179,496	76	3,538,630
4年度	156	129	1,115,187	25,850	29,515	1,170,552	161	3,512,040

※1kg当たり3円、リターナブルびんについては1本当たり3円の奨励金を交付した。

(8) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア 廃食用油回収容器設置場所 計77か所

※資源拠点ステーション、小・中学校、中学校給食共同調理場その他の公共施設

イ 回収状況

年 度	2 年度	3 年度	4 年度
廃食用油回収量	24,220ℓ	21,960ℓ	18,205ℓ

(9) ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がペットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステー

ションや各総合支所生活福祉課等にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

ア 回収状況

年 度	重 さ	個数(約)	ポリオワクチン
2年度	10,936.5kg	4,702,695 個	5,468.3 人分
3年度	12,019.0	5,168,170	6,009.5
4年度	12,676.0	5,450,680	6,338.0

4 排出環境整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進することで、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱防止、市民の美化意識の高揚及び良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。

ア 交付状況

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
2年度	14 件	29 基	5,716,006 円
3年度	29	90	9,322,250
4年度	15	35	5,817,928

※利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊 勢			小 俣			計		
	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入
市民自己 搬入分	車 222	kg 84,818	円 244,360	車 150	kg 52,950	円 145,530	車 372	kg 137,768	円 389,890
公共関係 搬入分	1	24	-	11	10,450	-	12	10,474	-
計	223	84,842	244,360	161	63,400	145,530	384	148,242	389,890

イ 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進するとともに、廃棄物投棄場を適正に運用するため下記の事業を行った。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	ガレキ類再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 66.11 t 瓦類 20.22 t レンガ 1.94 t	円 316,481 【単価契約】 ◇ガレキ類 1,000 円/ t (税抜) ◇瓦類 10,000 円/ t (税抜) ◇レンガ 10,000 円/ t (税抜)	4. 6. 21	5. 3. 31

伊勢市内	伊勢廃棄物投棄場ほか地下水等水質調査	10 か所	円 1,738,000	4. 9. 28	4. 12. 26
計	2 件	—	2,054,481	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

ウ 工事関係

小俣廃棄物投棄場を適正に維持管理するため、予防対策として保護マットの修繕を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町新村地内	(注) 小俣廃棄物投棄場保護マット修繕工事	小俣廃棄物投棄場保護マット修繕工事一式	円 22,902,000	4. 12. 16	5. 3. 14

(注) 維持課施行

5 啓発・教育の推進

(1) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

「MOTTAINAI～3R+リスペクト～」をタイトルとした MOTTAINAI 推進事業の啓発（生ごみの水切り、マイボトル・マイカップ持参、食ロスの削減など）を中心に、ごみの分け方・出し方の周知や、就職、進学などで引越しが多くなる3月には、引越して出たごみの適正な処理方法の案内をするなど、時期に応じた内容の記事を広報いせに掲載した。

また、ケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」においては、ごみの分け方、出し方、減量を案内し、ごみ減量・分別の啓発に努めた。

イ キャラクターを使った啓発

皇學館大学の学生と協働で作成した「ごみ分別PRキャラクター（かもしかのごみバスターズ）」を幼稚園・保育園(所)への環境出前講座や、路上喫煙の街頭啓発、食品ロス削減キャンペーンの啓発活動、ごみゼロ早朝清掃、環境フェア、御菌ふれあいまつり、お伊勢さんマラソンなどのイベントに出演させ、より効果的なPRを図った。

ウ LINE アプリを利用したごみ分別チャットボットの導入

伊勢市公式 LINE アカウントにおいて、AI チャットボット機能を利用して、ごみの品名ごとの分別方法や「ごみの収集日」「粗大ごみの出し方」など、問い合わせが多い項目について、自動で回答するサービスを提供している。

なお、21,412 人が登録、利用している（令和5年3月末時点）。

エ Facebook および Instagram による情報配信

かもしかのごみバスターズ（ごみ減量課）の Facebook 及び Instagram により、ごみの減量に関する情報や、ごみ減量課の取組、かもしかのごみバスターズの着ぐるみが参加するイベント情報などを配信している。フォロワー数は115人（令和5年3月末時点）。

オ スポ GOMI の実施

「スポーツ」と「ごみ拾い」を融合した社会貢献型の新しいスポーツである「スポ GOMI」を、幅広い世代の人たちが「ごみの減量」「身近な環境問題」について考え、関心をもって

もらう目的で令和4年11月5日（土）に二見町神前地区海岸にて実施した。（参加者19組57人）

（2）廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして59自治会より推薦された100名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

（3）ごみの分別等についての説明会の実施

希望する学校・団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、説明会を実施した。（説明会開催回数 延べ28回、参加人員 延べ688人）

また、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（令和4年4月1日施行）に基づき、現在燃えるごみとして排出しているプラスチック製品を分別回収するにあたり、量や方法等を検証するために、先行実施する自治会（区）を選定し説明会等を実施した。

（4）伊勢市環境会議（ごみ関係）

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実施期間	実施事業名	概要	備考
4. 5. 21	ごみゼロ早朝清掃	5月30日の「ごみゼロの日」にちなんで市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高め、ごみゼロ活動を実践するきっかけとするため実施した。	参加者 約150人 燃えるごみ 20kg その他のごみ 10kg
4. 7～ 4. 9	MOTTAINAI（もったいない）ポスターコンクール～「食品ロス」をなくそう！ごみをへらそう！～	物や食べ物を捨てる前に“もったいない”と思う気持ちを持ち、ごみに出す前にもう一度考える行動ができるよう、子どもたちから広く市民にメッセージを発信してもらうため、市内小中学校へ「食品ロス削減」などをテーマに作品募集を行い、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計51人 （応募作品数 397作品）
4. 6～ 5. 3	環境出前講座（園児対象）	環境に関する紙芝居、ごみの分別体験や着ぐるみとのふれあいなどを環境出前講座として、市内の保育園・幼稚園で実施した。	実績17回

6 路上喫煙対策

〈路上喫煙パトロール等〉

令和2年8月1日から開始となった「路上喫煙禁止区域」について、伊勢市駅・宇治山田駅前周辺エリアと内宮周辺エリアにおいて、禁止区域内での喫煙者への指導、たばこ等ポイ捨ての清掃、周辺店舗等への聞き取り、案内用の看板等の状況確認等を行うために、定期的にパトロールを実施した。また、令和4年7月31日には喫煙禁止区域で街頭啓発を実施した。

【実績】

- ・指導数 1回
- ・たばこポイ捨て本数 区域内932本、区域外1,112本

〈路上喫煙対策審議会〉

伊勢市路上喫煙対策審議会を開催し、施策取組状況や推進状況の報告を行い、意見をもらった。
構成：学識経験者（1名）、公共的団体の代表者（1名）、関係団体の代表者（3名）、関係行政機関の職員（1名）

7 不法投棄防止対策事業

(1) 防止対策

収集作業時におけるパトロールの実施や自治会からの要望等に基づき看板を設置するなど不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 通報への対応

通報を受けた場所が公共用地の場合は、投棄物を調査し、投棄者の特定を行っている。投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が私有地の場合、所有者に連絡して対応を求めた。

ア 主な不法投棄物の回収状況

年 度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エアコン	タイヤ	消火器	ガ ス ボンベ	業 務 用 冷蔵庫等
2年度	台 63	台 25	台 12	台 4	本 53	本 76	本 5	台 10
3年度	51	1	8	5	100	69	6	2
4年度	107	13	6	6	24	101	3	3

8 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

なお、ごみカレンダーは、地区別ごみの回収日を記載し、広報いせ令和5年3月1日号と同時に全戸に配布した。

(令和5年度版作成数 ごみカレンダー65,000部)

事 業 名	広 告 媒 体	広 告 掲 載 数	収 入 額
ごみ減量・資源化事業一般経費	ごみカレンダー	枠 16	円 480,000

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両24台、収集人員30名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の4市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ゴールデンウィーク（1日）、ハッピーマンデー（4日）、年末（2日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

(1) 収集車両

一般廃棄物（公共施設の燃えるごみ、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を24台の車両で行った。

ア 所管している車両

単位：台

4 t プレス	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t プレス	2 t ダンプ
1	2	3	2	6
2 t パワーリフト	2 t トラック	軽 四ダンプ	軽 四トラック	計
2	2	4	2	24

イ 車両の購入

耐用年数が経過し老朽化が著しく、また、職員による収集業務の効率性の向上を図るために車両を更新した。

種 別	台 数	金 額
2 t ダンプ	台 1	円 4,064,060
軽 四トラック	1	1,247,920
合計	2	5,311,980

(2) 収集人員

一般廃棄物の収集を職員30名の人員で行った。

(3) 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を伊勢市シルバー人材センター、町内一斉粗大ごみ収集運搬業務、旧伊勢市地区の資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、二見町地区の缶・金属類除く資源物、御菌町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務を一般競争入札により民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区の燃えるごみ、ガラス・くずびん類及び陶磁器類、二見町地区の燃えるごみ及び缶・金属類、小俣町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区）に基づき、旧伊勢市地区の4業者、小俣町地区の2業者に委託した。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 区 内	資源物回収袋洗浄等 業務委託	回収袋の洗浄及び補修業 務委託一式	円 12,443,841 【単価契約】 957～1,291 円/人日 事務費9%	4. 4. 1	5. 3. 31

伊勢市内	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その1） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託（可燃系粗大ごみ） 一式	円 13,759,075 【単価契約】 300,000 円/日（税抜） 12t超えた収 集運搬単価 25,000円/t	4. 4. 1	5. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その2） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託（非圧縮粗大ごみ） 一式	4,356,000 【単価契約】 99,000 円/日（税抜） 3t超えた収集 運搬単価 33,000円/t	4. 4. 1	5. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その3） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託（金属混成粗大ご み）一式	4,873,924 【単価契約】 100,000 円/日（税抜） 4t超えた収集 運搬単価 28,000円/t	4. 4. 1	5. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その4） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託（自転車）一式	4,927,230 【単価契約】 105,000 円/日（税抜） 100台超えた収 集運搬単価 1,050円/台	4. 4. 1	5. 3. 31
伊勢市内 （旧伊勢市 地区）	一般廃棄物収集運搬 （その1）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ）一式	55,605,000	4. 4. 1	5. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 （その2）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ）一式	29,865,000	4. 4. 1	5. 3. 31
伊勢市内 （旧伊勢市 地区及び二 見町地区）	一般廃棄物収集運搬 （その3）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ、缶・金 属類）一式	102,300,000	4. 4. 1	5. 3. 31
小俣町 内	一般廃棄物収集運搬 （その4）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ、缶・金 属類、資源びん、紙・布類、 プラスチック製容器包装、 ペットボトル、ガラス・く ずびん類、陶磁器類）一式	75,020,000	4. 4. 1	5. 3. 31
伊勢市内 （旧伊勢市 地区）	一般廃棄物収集運搬 （その7）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ、ガラ ス・くずびん類、陶磁器類） 一式	53,900,000	4. 4. 1	5. 3. 31

小 俣 町 地 内	一般廃棄物収集運搬業務委託（その8）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託（燃えるごみ、缶・金属類）一式	円 14,124,000	4. 4. 1	5. 3. 31
二 見 町 地 内	一般廃棄物収集運搬業務委託（缶・金属類を除く資源物）（二見町地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（缶・金属類を除く資源物）一式	14,674,000	4. 4. 1	5. 3. 31
伊 勢 市 地 内 （旧伊勢市 地 区 ）	一般廃棄物収集運搬業務委託（資源びん）（旧伊勢市地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（資源びん）一式	35,556,000	4. 4. 1	5. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬業務委託（紙・布類）（旧伊勢市地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（紙・布類）一式	45,096,000	4. 4. 1	5. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬業務委託（プラスチック製容器包装）（旧伊勢市地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（プラスチック製容器包装）一式	87,996,000	4. 4. 1	5. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬業務委託（ペットボトル）（旧伊勢市地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（ペットボトル）一式	31,524,000	4. 4. 1	5. 3. 31
御 菌 町 地 内	一般廃棄物収集運搬業務委託（御菌町地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（燃えるごみ、缶・金属類、資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類）一式	27,864,000	4. 4. 1	5. 3. 31
計	17件	—	613,884,070	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

2 燃えるごみの収集状況

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、各地区において週2回収集を業務委託により行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみの収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により自治会毎に年1回、業務委託により収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2）に分け、1,005か所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部 112 か所で適時収集を行った。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成 14 年度から順次開設している。開設状況としては、令和 5 年 3 月末現在で 19 か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	円 10,528,898 【単価契約】 957～1,291 円/人日 事務費 9%	4. 4. 1	5. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	2,090,000	4. 4. 1	5. 3. 31
宇治浦田 2丁目 地内	宇治資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	730,000	4. 4. 1	5. 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	730,000	4. 4. 1	5. 3. 31
二見町三津 地内	二見資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	730,000	4. 4. 1	5. 3. 31
計	5件	—	14,808,898	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(2) 工事関係

施設の安全対策及び維持管理のため、資源ステーションの修繕を行った。

施工場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
上地町 地内	城田 16 資源ステーション擁壁設置工事	擁壁・フェンス設置 工事一式	円 486,200	4. 5. 23	4. 7. 6
小俣町明野 地内	小俣 1-4 資源ステーション移設工事	移設工事一式	374,000	4. 8. 30	4. 10. 13
小俣町元町 地内	小俣 1-20 資源ステーション移設工事	移設工事一式	495,000	5. 2. 11	5. 3. 9

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 有料収集、小動物の死体の処理

粗大ごみ等の有料収集やペットとして飼われていた小動物の死体の収集について、手数料を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
粗大ごみ等	件 973	円 2,870,040
小動物の死体	36	36,750
合計	1,009	2,906,790

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物の処理

火災及び風害被災者の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	風害被害者	計
件数	6	0	6

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けている高齢者や身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、ふれあい収集事業を実施した。(収集回数 52 回、収集量 7,030kg)

利用希望者の申請をもとに 2 回の審査会を開催し、審査の結果 3 件の実施を決定した。

令和 5 年 3 月末現在において、25 件の収集を実施している。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合が、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう負担金を支出した。また、現在のごみ処理施設においては老朽化が著しいことから、新ごみ処理施設の更新に向けて伊勢広域環境組合と連携し、取り組んでいる。

1 分担金内訳

区分	伊勢市分			備考
	ごみ	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 5,701	千円 937	千円 6,638	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	391,975	64,441	456,416	実績割 100%
建設経費	533,308	—	533,308	平等割 10% 人口割 90%
公債費	169,052	—	169,052	元利補給金
清掃事業所負担金	3,290.4	—	3,290.4	
計	1,103,326.4	65,378	1,168,704.4	